

WILD ROVER 新たな船出

同志社艇友会

SEKISUI

同志社ローイング百年
おめでとうございます。



暮らしを、素敵に、奏でたい。



人間にとって豊かで、おもしろい21世紀を目指し、
積水化学は今日も新しい可能性に取り組んでいます。

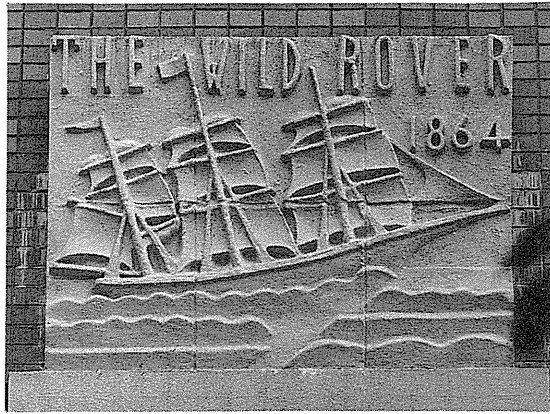
新技術で21世紀をおもしろく。

積水化学

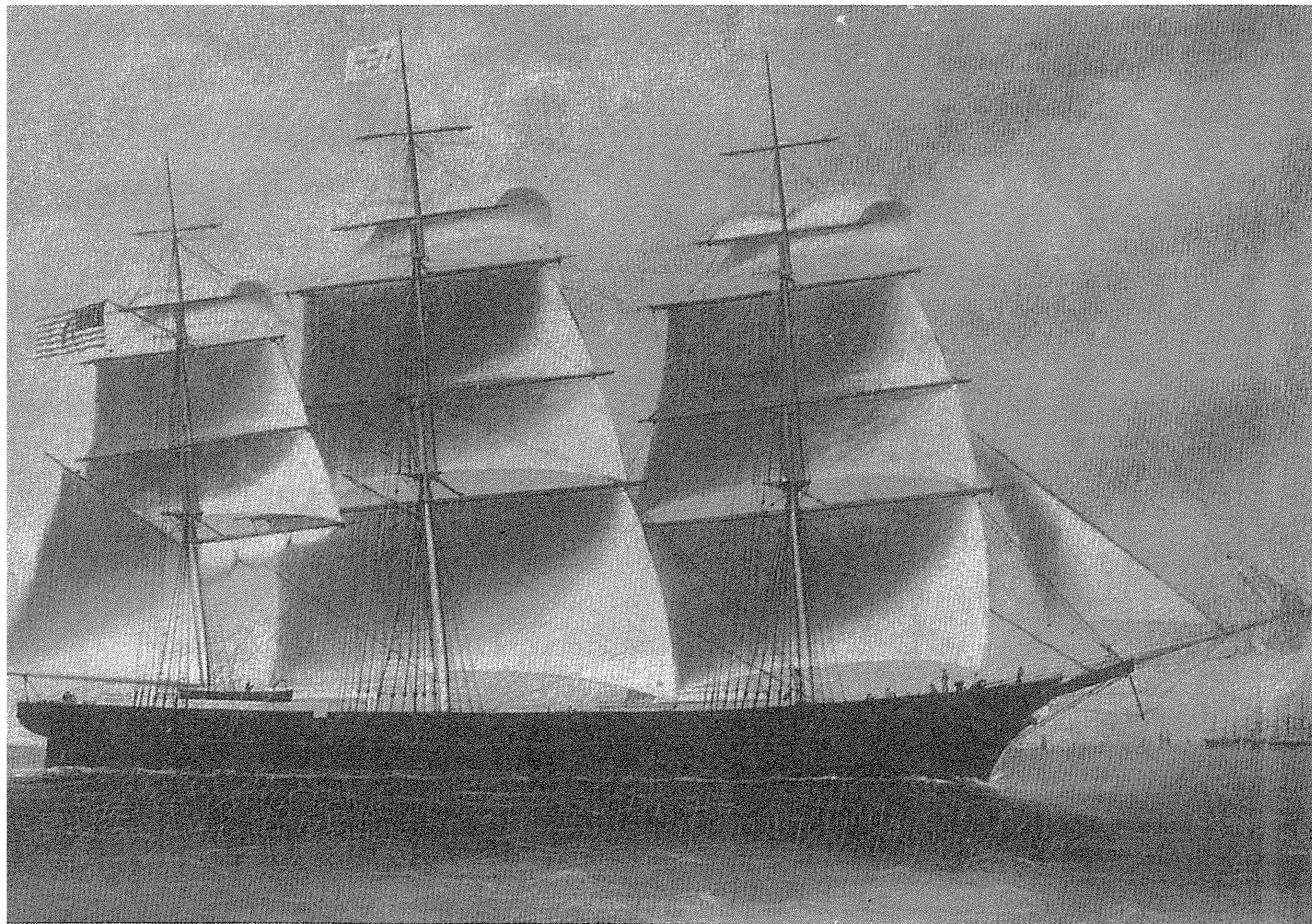
オリンピックキャンペーン
がんばれ!ニッポン!



JGS 25-28
積水化学工業は、「がんばれ!ニッポン!」の
オフィシャルスポンサーです。



WILD ROVER 新たな船出



ワイルド・ローヴァー号の油絵

1864年7月18日、新島襄は函館より脱国。同年8月11日、上海で、ボストンに帰港する米帆船「ワイルド・ローヴァー」号に乗り移った。同船は長さ187フィート、幅36フィート、1100トン、1853年進水。船主は後年、襄の米国留学中、深い愛情をもって物心両面にわたる援助を惜しまなかったアルヒュウス・ハーディー氏。

この油絵は、北米マサチューセッツ州のチャタム歴史協会の所蔵。画家不詳、1864年12月2日の日付けがある。同志社創立90周年で、アーモスト大ブリンプトン総長の好意で一時同志社に貸し出され、校友の目にふれた。

新島襄先生略年譜

西暦(年号)	主 要 事 項
1843(天保14)	1月14日(陽暦2月12日)江戸神田一ツ橋安中藩板倉邸にて新島民治の長男として誕生, 幼名は七五三太。
1847(弘化4)	12月14日弟雙六生まれる。(4歳)
1848(嘉永1)	2月14日習字のけいこを始める。(5歳)
1851(嘉永4)	読書・習字にはげみ, 絵画・礼儀作法を学ぶ。(8歳)
1853(嘉永6)	安中藩の学問所に入り, 添川廉齋について漢籍を学び始める。剣道や馬術のけいこを始める。(10歳)
1856(安政3)	藩主板倉勝明に命じられ田島順輔について蘭学を始める。(13歳)
1857(安政4)	田島が長崎留学のため蘭学を中断する。漢学に専念, 藩主勝明死去, 弟勝殷あとを継ぐ。11月15日元服。諱は敬幹。祐筆補助役を命ぜられる。(14歳)
1859(安政6)	蘭学再開, 父民治が藩主に随行して大阪に出張中, 祐筆職代勤および書道教授をする。(16歳)
1860(万延元)	藩主の護衛役となり, 初めて安中に行く。幕府の軍艦教授所にかよい数学・航海術を学ぶ。この頃江戸湾内でオランダ軍艦をみて, その偉容に驚く。(17歳)
1862(文久2)	眼病と不眠症のため軍艦教授所を退所。9月甲賀源吾塾に入る。11月備中松山藩主板倉勝静の洋式帆船快風丸に乗り江戸より備中玉島まで往復航海をする。(19歳)
1863(文久3)	蘭学のほか英学を始める。漢訳のアメリカに関する書物や聖書抜粋等を読む。(20歳)
1864(元治元)	3月12日北方交易にむかう快風丸に便乗, 品川を出帆, 函館に行く(4月21日)。6月14日(陽暦7月17日)夜半福士成豊(富士屋宇之吉)の助を得て米国船ベルリン号に乗り函館より脱国, 7月9日上海で米国船ワイルド・ローヴァー号に移り, 11月11日香港に上陸して船長に小刀を売った金で漢訳聖書を買求める。(21歳)
1865(慶応元)	4月9日(以下陽暦)マニラ発印度洋, 大西洋を経て7月20日ボストン着, 10月30日ワイルド・ローヴァー号の船主A ハーディ夫妻の庇護によりフィリップス・アカデミーに入学。(22歳)
1866(慶応2)	12月30日アンドーバー神学校付属教会で洗礼を受ける。(23歳)
1867(慶応3)	6月フィリップス・アカデミー卒業, 9月アーモスト大学入学, シーリー教授の指導を受ける。(24歳)
1869(明治2)	春夏休暇中見学旅行をし, 米国の国情を見る。(26歳)
1870(明治3)	7月14日アーモスト大学卒業, B.S(理学士)の称号を受ける。9月アンドーバー神学校入学。E.A.パーク教授について神学を学ぶ。(27歳)
1871(明治4)	3月森有礼駐米少弁務使とボストンではじめて会い, 森の斡旋で日本政府より留学免許状と旅券の交付を受ける。(28歳)

西暦(年号)	主 要 事 項
1872(明治5)	3月ワシントンにて岩倉具視一行の遣外使節団に会い、米欧教育制度調査の委嘱を受け、以後文部理事官田中不二磨の通訳として随行し、9月よりベルリンに滞在して報告書の原稿を草する。(29歳)
1873(明治6)	2月からドイツ・ウィスバーデンで湯治、9月米国に帰りアンドーバー神学校に復校する。(30歳)
1874(明治7)	7月2日アンドーバー神学校卒業。9月24日ボストンのマウント・バーノン教会で挨拶を受け。10月9日ラットランドのグレイス教会で開催の米国海外伝道協会年会で日本にキリスト教主義大学の設立を訴えて5000ドルの寄付を得、10月31日サンフランシスコを出帆、11月26日横浜に到着、29日安中の両親と10年ぶりに対面する。(31歳)
1875(明治8)	1月22日大阪に到着、川口与力町の宣教医M.L.ゴードン方に止宿する。4月京都に入り、6月大阪より中京の山本覚馬方に移転し、10月山本方より上京区新烏丸頭町の仮寓に移り、山本覚馬、J.D.デビス等の協力を得て11月29日上京区寺町丸太町上ル松蔭町の高松邸を借りて仮校舎とし、同志社英学校を開校。(32歳)
1876(明治9)	1月3日山本覚馬の妹山本八重と結婚、9月相国寺門前に新校舎完成、熊本バンド約30名を受入れる。12月3日新島宅に京都第二公会(同志社教会)設立。下旬より京都御所外苑内デビス宅で女子教育開始。(33歳)
1877(明治10)	4月女子教育の場をデビス宅より今出川通寺町西入ル旧二条関白邸跡の新校舎に移し、女学校を開校。(34歳)
1878(明治11)	9月7日シアーズの寄付による住宅が寺町丸太町上ル松蔭町に完成、新烏丸頭町の仮寓より移転する。(35歳)
1879(明治12)	2月11・12日勝海舟を訪問。6月12日第1回卒業式を行う、卒業生15名。6月より8月まで愛媛・宮崎・鹿児島県下を伝道旅行する。(36歳)
1880(明治13)	2月岡山・愛媛を伝道旅行。旅行中に英学校2年生のクラス合併に関し問題起り、4月13日礼拝で「自責の杖」を振り自らの手を打つ。10月より12月まで岡山・愛媛・福岡・熊本各県を伝道旅行する。(37歳)
1882(明治15)	3月福士成豊来訪。4月播但、両丹地方を伝道、6月29日女学校第1回卒業式を行う、卒業生5名。7月夫人とともに中仙道を経て群馬・栃木・福島・山形県下を旅行。11月7日「同志社大学設立之主意之骨案」を書く。(39歳)
1883(明治16)	2月15日同志社社則四ヵ条制定。4月「同志社大学校設立旨趣」「同志社設立の始末」を発行する。8月北陸、11月岡山・高梁伝道。(40歳)
1884(明治17)	1月19日同志社大学設立の仮発起人会を開く。4月6日休養と募金を兼ね欧米旅行(イタリア・スイス・ドイツ・イギリスを経てアメリカ)に出発する。8月6日スイ

西暦（年号）	主 要 事 項
	<p>スのサンゴタールの坂道を登る途中、呼吸困難となり、容態悪化。山頂の旅館で遺書（英文）をしたため、7日下山。9月30日ボストン着。10月29日「日本のキリスト教高等教育のために訴う」(英文)を出版、12月17日アメリカン・ボードは同志社に5万ドルの寄付決定。(41歳)</p>
1885(明治18)	<p>5月8日内村鑑三をアーモスト大学シーリー総長に紹介、同校への入学斡旋をする。12月12日横浜着、17日京都着、18日チャペル、有終館の定礎式、同志社創立10周年記念式挙行。(42歳)</p>
1887(明治20)	<p>1月30日父民治永眠。5月組合・一致両教会の合併問題おこり、大学募金とともに、心痛する。6月17日仙台の東華学校開校式に出席、9月まで北海道で静養、その間8月13日A.ハーディ死去の通知を受ける。11月15日同志社病院開院式、京都看病婦学校開校式を行なう。(44歳)</p>
1888(明治21)	<p>4月12日知恩院で大学設立集会開催、4月16日東上募金運動を展開、11月7日「同志社大学設立の旨意」を「国民之友」はじめ全国の主要新聞・雑誌に発表。(45歳)</p>
1889(明治22)	<p>1月29日大学敷地として京都寺町鞍馬口の彦根藩屋敷跡約6千坪を買収。5月アメリカのJ.N.ハリスより同志社の理科教育のため10万ドルの寄付申込を受ける。7月4日第1回基督教青年会夏季学校を同志社において開催。8月垂水・有馬で静養、アーモスト大学よりL.L.D.の名誉学位を贈られる。10月12日大学募金のため京都発東上、11月下旬群馬県前橋に滞在中、胃腸に激痛を覚え、募金を中断して12月13日東京に戻り、のち大磯に移り百足屋旅館で療養する。(46歳)</p>
1890(明治23)	<p>1月12日より病状悪化、21日重態、八重夫人、小崎弘道、徳富蘇峰を呼び遺言を述べ、徳富がこれを筆記する。23日午後2時20分急性腹膜炎で永眠、24日夜遺体京都新島邸に帰る。27日同志社チャペルで告別式を行ない、東山若王子山上に埋葬される。(47歳)</p>

1. 国民の安危と教育

——願うに我日本の同胞三千余万（当時の日本人タロ）の将来の安危禍福は、独り政治の改良にのみ存せず、独り物質的文明の進歩にのみ存せず、実に専ら国民の教化如何に依りて定まるを信ず——。

2. 一国の良心

——国を維持するは決して二、三英雄の力にあらず、実是一国を組織する教育あり知識あり品行ある人民の力に依らざる可からず、是等の人民は一国の良心とも云うべき人々なり、而して吾人は即ち此一国の良心とも云うべき人々を養成することを務めんとす——。

3. 良心と手腕

——同志社は独り普通の学問を教授するのみならず、学生の徳性を涵養し、其品行を高尚ならしめ、其の精神を正大ならしむることに注意し、独り技芸才能ある人物を教養するに止まらず、所謂良心を手腕に運用する人物を出さんことを務む——。

4. 基督教的徳化

——唯上帝を信じ真理を愛し人情を敦くし、生きて力ある基督教主義にあらざれば能はざるを信じ、基督教を以て同志社の道德教育の基本と為せり——。

5. 私立経営及び自治的精神

——吾人は教育の事業を挙げて悉く皆政府の手に一任するの甚だ得策なるを信せず、苟も国民たる者が自己の子弟を教育するは是国民の義務にして決して避くべきものに非ざるを信ず、夫れ教育は実是一国の一大事業なり、此一大事業を国民が無頓着にも無気力にも唯、政府の手にのみ任せ置くは依頼心の最も甚しきものにして吾人が実に浩歎已み能わざる所なり、我同志社不肖なりと雖も今日迄、私立経営にて存続し来れり、幸いに天下同感人士の賛成を得ば将来愈々此の如くして之を拡張せんと欲するなり。

6. 百年の大計

——吾人が目的とする所、実に此の如し、諺に日く、一年の計は穀を樹うるにあり、十年の計は木を樹うるにあり、百年の計は人を樹うるにありと、蓋し我が同志社大学設立の如きは実是一国百年の大計よりして止む可からざる事業なり。

目 次

ワイルドローヴァー号油絵と解説	2
新島襄先生略年譜	3
同志社大学設立の旨意抜萃	6
他校主将からのご寄稿	8
ヘンリー遠征報告	12
瀬田の人々 同志社ボート部学生の思い出を語る	24
100周年目の部員たち	28
女子マネージャーOGからのことば	32
協賛広告	36

▼▼ローイング100年
それぞれの青春 -200年へいま-

上のロゴタイプは昭和31年度卒業生岩波春喜氏の考案になるもので、
編集作業期間中の通信文書等に一貫して使用されました。

他校主将からのご寄稿

関西大学漕艇部主将 辻井博之

このたびは同志社ボート部創部100周年ということで、まずは心よりお祝い申し上げます。一口に100年と言いましても並たいていの年数ではなく、自分の生きてきた年月の5倍近くになるのかと思うと、これまで貴校のボート部を支えてこられたOB諸氏に多大なる尊敬の念を抱く次第でございます。現役諸君もこの100周年という重さに恥じぬよう、また圧倒されることなく、より大きく発展されるようがんばっていただきたいと思います。

近年、ボート界では、東高西低の状態が不本意にも続いております。全日本選手権の決勝レースで関西のクルーを目にすることは、ごくまれになってきております。なんとしてもこの現状を打破しなければなりません。それにはやはり関西のクルーの先頭を切ってわれわれ関々同立のクルーのレベルアップが大前提に置かれるのではないのでしょうか。関々同立レガッタ、朝日レガッタ、関西選手権等、われわれが切磋琢磨し合える場はしっかりと設けられております。これらの試合を通じておたがい刺激を受け、発奮し、より速いクルーを創っていかうではありませんか。レッグ・ドライブを強調した貴校の独特のローイング・スタイルに対し、わが関大はあくまでスタンダードな、身長を生かした漕姿で戦いたいと思っております。関々同立レガッタでは苦杯をなめ、朝日レガッタでは決勝進出もならずという大変不本意な結果に終わってしまいましたが、気持ちを切り換え、今またわれわれは前進しております。二年後にわれわれも70周年という節目の年を迎えるということで現役一同一丸となって燃えています。今後とも良きライバルとして戦い続けられることを切に希望します。

最後になりましたが、この誌上に寄稿させて頂く機会を与えて下さいましたことを深く感謝し、同志社大学ボート部の更なる発展を心よりお祈りいたしております。

京都大学体育会端艇部主将 稲原浩

このたび、同志社大学ボート部におかれましては創部100周年をお迎えになるとのこと、京都大学端艇部々員一同心からお慶び申し上げます。またそのような栄えある場に寄稿させていただく機会を頂戴し、まことにありがとうございます。慎んで受けさせていただきます。

一言に100年と言いましても、現在では思いもつかぬ困難な時勢が多々あったに違いありません。そんな中でも、ボートというすばらしい競技を伝え、普及なさってこられた同志

社OBの方々に敬意を表さずにはられません。

加うるに、メキシコ五輪日本代表を筆頭に数多くの栄光に彩られた同志社大学ボート部は、長年にわたり、名実共に関西漕艇界の牽引車としての地位を不動のものとし、各方面へ良い刺激を与え続けられて、弊部もその良い意味での影響にあずかって来ました。その意味で、単に一つの団体に留まらず、関西漕艇界、ひいては日本漕艇界にとっても誠に喜ばしく、記念すべき100周年でしょう。

僕たち第186代対校の面々は、100年のうち3年ばかりですが幸運にして同志社大学と競漕、練習することができ、そしてその中から本当に多くのことを勉強させられました。まぶたを閉じればつい昨日のこのように思い出される熾烈を極めたレガッタの数々。2回生のときの瀬田川での2000メートル競漕に始まり、3回、対校エイトとしての関西選手権、全日本大学選手権まで、現対校の礎となるような貴重なレース経験を積ませてもらいました。その中でも圧巻は、昨年の関西選と全日本大学選手権の準決勝です。漕技・漕力を超越した集中力の大切さを見せつけられた関西選。今思い出しても鳥肌が立つほど気合のこもったインカレ。魂と魂のぶつかり合いの崇高さを身をもって感じさせられたことは、対校エイト9人の心の中で、生涯の銘として脈打ってゆくことでしょう。

良きライバル同志社ローイングがいてくれたことは、僕たちにとって幸せなことでした。陳腐な言葉ですが、今後もまさに切磋琢磨し合い、多くのことを学び、お互いのレベルの向上に努めてゆきたいものです。アマチュアリズムの根源を問うこのボートというスポーツが、幾多の価値観の変遷に揉まれながらも100年という歳月を経て、今なお如実にその精神が受け継がれていることに本当に勇気づけられます。100周年を一つの良き節目とした同志社大学ボート部のますますのご発展、ご健斗をお祈りいたしております。

滋賀大学経済学部漕艇部主将 今村裕司

このたびめでたく創部100周年を迎えられることに、心からお慶びを申し上げます。

われわれ滋賀大学経済学部漕艇部の六十八年に及ぶ伝統をはるかに上回り、対校エイトにおきまして、ここ数年安定した水準に保たれているのは、なみだいてのことではないと推察しております。これは個々人の努力はもちろん、コーチやOBの方々との関係がしっかりした、伝統に培われた組織に基づいているのだと思います。

私自身、貴部の輝かしい栄光の歴史を、OBをはじめ数々の知人から耳にしております。また私の記憶に新しいところでは、二年前の全日本大学選手権ならびに全日本選手権で対校エイトが四位になられたことです。なみいる関東の強豪の中、関西の、それも瀬田川において共に練習している貴部が決勝の検舞台で力漕されているのを真近で見て、非常に興奮し、大いに刺激を受けたことが甦ります。最近は大業団が大きく立ち上がり、おたがい苦戦を強いられておりますが、学生の持ち味を十分生かしければ、足りない分は補われ、

好結果につながると思います。

われわれにとって残念な点は、同じ瀬田川で練習していながら艇庫があまりにも離れているため、交流の機会が少ないということです。ボート人口の数少ない現在、たがいに情報交換や意見を語りあえたらどんなにすばらしいでしょう。

今後も好敵手として切磋琢磨しあい、戸田の決勝でマッチレースができるよう精進しましょう。最後になりますが、貴部がこの100周年を大きなステップとして、今後さらなるご発展をとげられることを願ってやみません。

龍谷大学端艇部主将 中場庸夫

同志社大学ボート部が創部100周年を迎えられるにあたり、謹んでお喜び申し上げます。貴部が1世紀もの長きにわたり、関西漕艇会のみならず日本漕艇会の雄として輝かしい戦績をおさめられ、現在もその実力において強者ぶりを発揮しておられる事実は驚嘆に値します。100年の間にはOBの方々の様々なご苦勞があったことでしょう。しかし、貴部を通じての世代を越えたオアズメンのつながりが、現代までの1世紀にもわたる歴史を築き、これからの100年、200年を築く力になるのだと思います。当代のオアズメンが重ねる日々の研鑽が、次代のオアズメンの見本となり励みになる、そういう関係を続けてこられた貴部のありかたは、われわれにとっても見習うべき手本です。貴部は今後もその歴史から、否応なしに日本漕艇界の手本たるべく活躍を期待されることでしょう。われわれといたしましても、オアズマンの意地と誇りをかけて貴部に戦いを挑む所存でおります。われわれだけでなく、他団体全てと貴部との戦いが、来たるべき創部200年の歴史、ひいては日本漕艇界の歴史を飾ることになれば、オアズマンを名乗る者としてこれほどうれしいことはありません。

最後になりましたが、貴部のますますのご発展をお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

甲南大学ボート部主将 三橋秀夫

私が同志社大の試合を目の前で見たのは、たしか私が2年のときの朝日レガッタでした。そのパドルの力強さを見て「これは、ただ者ではないな」とびっくりしたのを今でも覚えています。

その後の関選でもその強さを見せつけられ、戸田のオリンピックコースで逆風の中、全日本選手権四位となった場面を見て、「よし、おれもやるぞ」と興奮しました。

そして、私が4年生になった現在でも、同志社クルーの強さは他大学にとって脅威であ

り、いつも強豪クルーの筆頭にあげられます。

私は、同志社大学漕艇部の長い歴史の中のほんの一部を見ているだけですが、そこからだけでも、また全日本を制した過去の歴史を見るだけでも「関西に同志社あり」と言われるのがわかるような気がします。

また、歴史というのは、これから創っていくものでもあります。一瞬一瞬の積み重ねが次の歴史を創っていくのです。今年は英国のヘンリーロイヤルレガッタにも出漕されると聞いています。WILD ROVERクルーが、また新しい歴史を刻まれ、外国クルーを蹴散らす姿を楽しみにしています。

わが甲南大学も近い将来、WILD ROVERクルーをぶっちぎらせて頂く予定です。他の大学もそうだと思います。おたがい日本一を目指してがんばりましょう。

最後になりましたが、創部100周年、本当におめでとうございます。皆様の今後のご健闘をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。

立命館大学漕艇部主将 西村泰明

同志社大学漕艇部は今年で創部100周年を迎えられるとのこと、まことにおめでとうございます。貴漕艇部の長い歴史と伝統に敬意を表し、立命館大学漕艇部を代表して、心よりお祝いを申し上げます。

先日私は、新聞で同大ボート部の100周年の記事とともに、琵琶湖疎水上で撮られたという古いボートの写真を目にする機会を得ました。そのたいへん重そうなカッターのようなボートと、現在のカーボン艇の違いを比べてみたりして興味深いものがありました。写真上の艇上の漕手達がとても嬉しそうな顔をしているのが印象的でした。当たり前のことですが、自分たちにとっては大先輩にあたる古いOBの方々にも、若くてボートに乗るのが好きでたまらないという時期があったのだと、妙に感心した次第です。100年前、現在、そして100年後とボートの形状は常に進化し変わっていくでしょうが、ボートを操る若者たちのボートに対する熱い想いは、いつの時代でも同じであると思います。

さて、ここ数年の関西における同志社クルーの活躍は目ざましいものがあります。各大会において常時決勝に進出しメダルを獲得されていますが、特に一昨年のインカレ・全日本ともに決勝四位の成績をおさめられたことは、いまだに記憶に新しいところです。

もちろん、同志社の皆さんはそのような成績では満足されていないでしょう。部員全員がインカレ・全日本の優勝のみを目標に掲げていることが、同志社の強さの秘密だと思います。

同志社と立命は関西一の練習環境に恵まれています。関東勢が圧倒的に強い今のボート界ですが、これを引っくり返すにはわれわれが奮起するしかありません。次にインカレ・全日本を制するのはどちらが先か？ これからが勝負です。

ヘンリー遠征報告

監督 横山基嗣

これがボートだ!!

ヘンリーロイヤルレガッタを見ての第一印象である。

ロンドンの西方約60キロメートルのテムズ川沿いに位置するこの町は、レンガ造りの家が建ち並ぶ人口約1万人の小さな町である。その町が、レース期間中は、50万人とも100万人ともいわれるくらい、人であふれる。ブレザーに帽子、そして手には傘をもった英国紳士、ドレスで着飾った淑女、あるいは髪を長くして染めたヒッピー風の若者など、いろいろな人が酒を飲み、語り合いながらボートレースを楽しんでいる。150年余りの間には、多くの障害があったであろうと思われるが、ボートを愛する人達によって必死に守られ、引き継がれてきたのである。

わが同志社ボート部も今年で100周年を迎える。その間には多くの先輩方が、数々の困難を乗り越えられ、今日に至ったものと思われる。このレースに参加させていただいて、100年の重みと、先輩方の偉大さを再確認した。

レース2、3日前から、コースの両岸にはテントがぎっしり建ち並び、観戦の準備がなされ、レース当日にはそこに大勢の人々が集まり、一大社交場となった。

わがボート部はテムズチャレンジカップNo.46レースでL.R.C.（ロンドンローイングクラブ）と戦うこととなった。ロンドンの名門クラブチームで、かなりの強敵と思われた。レース関係者2名が審判艇に乗ることができ、私とコーチの中村君とが乗った。

スタートが切られた。われわれの心配をよそに、スタートダッシュ、スパートとわがクルーが先行した。しかし、コンスタントに入るとL.R.C.の引きはすごく、逆に1艇身の差がついた。その後、必死に足蹴りとスパートをいれたが、結局2艇身3分の2の差で敗れた。体格の違い、それに伴う体力の違いを痛感した。水をあけられても、あきらめずに必死に漕ぐ選手達、そして拍手をして迎えてくれた観衆、審判艇に乗っていて、負けた悔しさと同時に、なんともいえない感激を覚えた。

何事にも必死にチャレンジしていくこと、自分の持てる力をフルに出し、向かっていく精神、どんな苦しい練習やレースでも、いつも心の片隅に、それを楽しむ気持ちをもってやること。そうすることにより、全てがより一層向上していくのだと思った。

しかし、どんなレースでも勝ちにいかねばならない。今回の遠征において、われわれ指導陣も選手も、負けてあたりまえだと思ふ気持ちがあった。これは、大きな間違いだった。どんなレースであれ、どんな相手であれ、勝つためにやるべきで、やはり悔しかった。負けるというのは、本当に悔しいものである。せめてもう一回レースをやりたいかった。

今回の遠征は、本当に有意義なものであった。この経験は、これからのレースに必ず生

きてくると思う。

最後になりましたが、このような機会を与えて下さった諸先輩に、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。そしてお願いします。海外遠征を今回だけで終わらせるのではなく、こういう機会を重ねていってこそ、本当に強いクルーが作れるのだと思います。学生たちも精一杯努力します。近い将来、また海外遠征ができることを望んでやみません。どうかよろしくお願い申し上げます。

対校コーチ 中村俊裕

私自身の海外遠征の経験から、今回のヘンリーレガッタへの参戦目的を、海外クルーの練習・レースに対する集中力を見るという一点に絞りました。また、学生にもその点を認識させ、レースに臨みました。

結果、初戦で負けはしましたが、レース前、後の練習、海外クルーとの交流において目的は達成したと考えます。

今後の対校クルーのレース結果については、私自身非常に楽しみにしていますし、また同志社大学ボート部の今後にも期待できると確信しております。クルーには肌で感じたことを、言葉で記録していくのではなく、戦績で記録してほしいと思います。

今回の遠征に際しご尽力いただいた高橋会長はじめOBの方々に深く感謝するとともに、その気持ちを結果に表し、ボート部200年への歴史の1ページを築いていきたいと思ひます。



ヘンリーロイヤルレガッタ紀行

主務 岡本竜人

6月30日

早朝、ヒースロー空港着。バスでヘンリーの街へ向かう。テムズ河のコースとボートテントを見たときは、一同「おーっ！」の声。洋風造りの建物（当たり前か）、静かに流れる川面……。思わず声が出るほどの美しい光景である。

ホームステイ先へと住宅街へ行くと、これがまた目を見張るばかりだ。レンガ造りの古い建物がずらりと建ち並び、まるで絵葉書の風景のようである。ホームステイ先の家族は僕らを大歓迎してくれた。

驚くような量の出てくる昼食をすませた後、いよいよ我らの艇へ。12世よりもガッチリした、重い感じのする艇だったが、なかなか悪くない。

1991年6月30日。100年目の同志社クルー、テムズ河を走る。

7月1日

レストランで出る食事の量には驚かされたが、ステイで出る食事の量もスゴいの一言だ。食後には必ずハンドメイドのデザートがつく。日本へ帰ると合宿所での食事選手達はきっと文句を言うだろう。が、朝食はさすがにあっさりしたもの、コーンフレークを本当に朝食にしている。

朝食後の午前中と午後と2モーションをこなす。とにかく外国のクルーはまずでかい。パワーでガンガン押してくる感じでキャッチの迫力が違う。午後、あるカレッジクルーと並べたが、やはり歯が立たなかったようだ。

7月2日

予選も明日に迫り、ボートテントは人であふれてきた。そして何よりも、テント前に何十艇というエイト艇がずらりと並ぶ。壮観！ 日本でこんな風景は見られないだろう。

テムズのコースは元々ボートレースを行うような河幅ではない。その上半分は観戦用にとってあるので、コースそのものは2艇並べるだけで精一杯という感じだ。これでよく事故が起こらないものだと感心する。

スタート地点の辺りは一面の草原(?)で、緑に囲まれたのどかなところである。ステッキボートが設置されていて、2艇同時につけると並べてどンドンスクラッチになる。我が同志社のブレードカラーの由来になるケンブリッジ大の軽量級クルーと並べた。なかなかの好勝負だった。

7月3日

1回戦。コース付近は、ステッキに帽子というお決まりスタイルの紳士に、上流階級と一目で分かるドレスを着た女性といった人たちであふれかえる。エンクロージャー内ではジャズバンドが賑やかに演奏し、コースサイドにはTシャツなどの店や、アイスクリームやホットドッグの店、バーまで現れた。ステイ先のおばさん曰く、「最もイギリスらしい一大イベント」の始まりである。

相手のロンドンローイングクラブ (L.R.C) は、英国では有名な名門のローイングクラブらしい。どうせやるなら一流どころと当たった方がやりがいもあるというものだ。

スタートは好調に出て行ったがコンスタントで抜かれて同志社が粘る。すいすいと走るL.R.C. それでも差は2艇身もない。同志社は懸命に漕ぐ。結局2艇身3分の2差で敗れたが、我々同志社クルーに観客からの惜しめない拍手が送られた。

レース後、L.R.Cとの交歓が始まった。“Nice fight!” “Thank you!” 言葉こそ満足に通じないが、みなお互いに握手し、十分コミュニケーションができています。勝ち負けにはまったくこだわらない。負けたレースなのにこの満足感は何なのだろう。ヘンリーに来るとボートというスポーツを心から皆愛してしまうのに違いない……ふとそんな風に思った。

7月4日

ヘンリーのレースはマッチレースで行われるトーナメント方式だから、もう我々のレースはない。一日レース観戦である。次々にレースがあるので見ていて全く飽きない。日本に果たしてこんな風に「楽しめる」レースがあるだろうか。勝ったクルーにも負けたクルーにも拍手が送られ、皆が声援を送る。「あと一レースしたかったなあ」だれもがそう思っていた。それはそうだ。テムズでは何度でも漕ぎたいだろう。

日本から我々の他に來ていた日本大学、今日も勝つ。選手達は複雑な思いで観たに違いない。

7月5日

ロンドン観光。朝早くからバスでバッキンガム宮殿や、トラファルガー広場、ロンドン橋、ビッグベンなどなど、一通り有名どころは観た。が、しかし、疲れるような分刻みのスケジュールにうんざりか？

大英博物館は、とにかく広い。さすがに世界的な博物館である。皆が驚いたのはやはりミイラだったようだ。

夜（といっても9時半ごろから暗くなるのでまだ昼間みたいだが）、OBの方々と中華のパーティー。個人的に僕はもうパンに飽きていたので、チャーハンが非常にうまかった。

イギリス最後の一日は早かった。

7月6日

土曜日のこの日、ヘンリーの街は一番盛り上がるそうだ。皆、日本へ帰るのを残念がっていた。もっとここに居たい、と。

一週間お世話になったステイ先の家族と名残惜しい別れ。おおげさなようだが、ステイ先の人達は本当によくしてくれ、おばさんなんかは“Good Luck!”と言いながら涙ぐんでいた。

空港に帰るバスの中、本当に皆、帰るのが残念そうだった。

ヘンリーロイヤルレガッタは僕らの中に（月並みな言い方だが）素晴らしい経験として残るだろう。そして、この経験をふまえて、ボートがおもしろくなるだろう。きっと、もっともっとボートが楽しめるに違いない。



宮崎寿春

ヘンリーに着いたとき、何だかよく分からないけどドキドキした。ヘンリーブリッジの上からコースをながめたとき、何だかよく分からないけど感動した。周りの建物や森や人がみんなすばらしく感じられ、ボートが生まれた土地でレースに出られることを本当に光栄に思った。環境が変わり、艇も変わったが、それらが苦にならない精神的余裕を持つことができ、まずまずのコンディションでレースに臨んだ。

レースは残念ながら負けた。不思議にあまりくやしくなかった。何だかよく分からないけど、スタート前のすきとおった時間や、ゴールした後の柔らかくほぐれていく空気がとても気持ちよかった。自分のことなのに、まるで映画のスクリーンを見ているように感じられた。そしてもっともっと頑張ればきっと何かを得られるだろうと思った。

ヘンリーの町は、温かく、素朴な町だった。そして私たちがお世話になったフェリーさん一家もとてもやさしい人たちだった。言葉がなかなか通じなかったけれど、とても親切にもてなしてくれた。またいつか会いたいと思った。

最後になりましたが、私達にこのようなすばらしい機会を与えてくださいましたOBの方々には本当に感謝しています。私達はこの経験を無駄にすることのないようこれからの練習にはげみたいと思います。100周年という記念すべき年の主将として、さらに200年目を目指すためにも、私たち全員が満足のできる結果を残したいと思っています。

単純な私は、ヘンリーを去るとき、もう1度現役でヘンリーに来ようと思った。そしてそれを実行すべく、社会人になってもボートをやることを決心した。たった一週間が私の人生を変えちゃったんじゃないかな、なんて思ってしまう今日このごろです。

功力英俊

100周年記念事業の大きなイベントとしての英国遠征は、私のボート生活において最も思い出深い1ページであったといえます。

ボートの原点、人間生活の原点がヘンリーの街には確かに存在していた。駆き立てられる生活が続く日本にいるときは、自分が何をしているのか何だかよくわからない日々が続いていたように思える。何のために生きているのか、何のために練習をしているのか、何のために勝とうとしているのか、この遠征を通じて私なりの答えを出してみると、「楽しむ」という一言につきる。私自身としては、ボートを「やらされて」いるという感覚はないつもりだったが、やはりそんな感じをどこかにひきずっていたようにヘンリーに来てから特に感じた。ヘンリーでは、日本スポーツにはありがちな悲愴感は見られず、誰もが純粋にボートを楽しんでおり、勝ったクルーはもちろんのこと、負けたクルーにも送られる拍手は新鮮な感じだった。レースに負けたあと対戦相手のロンドンローイングクラブのクルーのみんなが握手を求めてきたとき程うれしかったことはないし、ボートを続けて本当に良かったと思った。

良いことづくめの英国遠征だったが、できることなら、ヘンリーロイヤルレガッタの決勝戦まで残って観戦したかったし、もっと他国のクルーと話をかわしたかった。このことだけがどうにも心残りではない。しかしこの遠征を通じて今後生きていくうえでの基盤がより確かなものになったように思います。このような機会を与えてくださったOBの方々、また今回参加できなかった現役部員のみなさんには本当に感謝してもしきれない気持ちです。新婚旅行はヘンリーロイヤルレガッタツアーとすることを帰国の日に決定いたしました。

小田切拓

ヘンリー遠征をふりかえってみると言いつくせないほど沢山のことが思い出されるが、僕にとっての一番の思い出は、他クルーのコーチとの交流である。

外国クルーのコーチで話をすることができたのはオックスフォード・ポリテクニクBのコーチと、MITのコーチであった。彼らは二人ともとても親切で、うまく言葉が通じないのを、身振り手振りを交えて、なんとか伝えようとしてくれた。

特にオックスフォード・ポリテクニクBのコーチ、デービッドは、わざわざ同志社のレースを見て、自分なりに思うことなどもアドバイスしてくれ、勉強になった。

このように有意義な遠征であったが、他にも、ヘンリーがとても美しく、選手がとても真剣に、純粹に、そしてとても楽しそうにオールを握っていたことをつけ加えておきたい。さらに、選手にとってもヘンリー遠征はとてもはげみになったであろうから、できればこれからも、この遠征の行事をつづけてもらえればと思う。最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださったOBの方々、本当にありがとうございました。

米山尚吾

2年前に早稲田がヘンリーロイヤルレガッタに出漕したときのテレビを観て、なんとあいつらは幸せ者だろうと思った。100周年目に当たるわれわれは、記念事業としてヘンリーに出漕！という話を耳にしたが、まだ半信半疑なところがあった。しかし、今年になってヘンリー遠征の準備が着々と進んでいくなかで、次第に実感が沸いてきた。そして6月29日、日本を後にしたわれわれは期待に胸をふくらませイギリスへ向かった。空港からバスでヘンリー市へ着いたとき、想像以上に風格のある建物に驚かされた。レースまでの練習中、テムズ川で漕げる喜びが全身につたわり、毎モーション熱が入った。何回かテストマッチを行ったが全く歯が立たず、あらためて力の差を感じた。レースで対戦する相手はロンドンローイングクラブという強豪だった。全く歯が立たないかもしれないが、全力でぶつかりROW-OUTすることが日本に帰ってからのレースにつながると思い、レースでは持てる力を全部出しきった。結果はどうであれ、われわれが目で見、肌で感じたこの経験

を生かし、関選・インカレ・全日に向かって瀬田で練習を積み、タイトルを狙っていきます。

吉田武史

私は今回のイギリス遠征で、ボートの原点を見る思いがしました。欧米のクルーは、皆ボートが大好きであり、ボートというスポーツを心から楽しんでいるように見えました。

「苦しい練習を乗り越えねばならない」「がんばらなくてはならない」「勝たなくてはならない」と、ともすれば私たちは自分で自分に足枷をし、プレッシャーをかけていたように思います。私たちもボートに魅力を感じ、ボートが好きでボート部に入りました。ボートが楽しいからこそ一生懸命練習をするのだという気持ちを忘れず、インカレ、全日本へ向け、「やらされる」練習ではなく「自ら進んで」練習をしてゆきたいと思いました。

最後になりましたが、本当に多くのことを学び、私の一生のかけがえのない思い出となったイギリス遠征を実現させてくださったOBの方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉田拓生

Henley Royal Regattaに参加して思うことは、今まで以上にBOATというスポーツが好きになったことです。この大会はレガッタというより、お祭りみたいな感じで、ブレザー姿の英国人が格好良く、高貴であり、また、会場全体の雰囲気がすばらしく、魅力的な大会でした。

試合は、LODON・R・Cの圧勝で、われわれは全く相手になりませんでした。相手は優勝候補であり、練習中何回か見かけたが、キャッチポイントが抜群で、一番上手で速く、会場で特に目立っていたCREWでした。できれば勝ちたかったが、負けてるわれわれにも「DOSHISHA!」の声援と盛大な拍手を送られ、すごく感激しました。今は、もう一度このレガッタに参加して、そして今度は勝って声援を受けてみたいと強く思っています。

このレガッタは本当にすばらしい大会です。オアズマンの夢です。そこでボートを漕げたことを大変誇りに思い、大変幸せに思います。

最後に、このような機会を与えて下さいましたOB各位に深く感謝いたします。ありがとうございました。

内田琢也

ボート伝統の地、ヘンリーのテムズ川でボートを漕げるということは非常に光栄なことであり、またこういった機会に恵まれて本当によかったと思う。実際にこの目で見て海外

のクルーはダイナミックな漕ぎをすと思った。中には下手なクルーもいたが、やはり速いと感じるクルーは力ばかりに頼らずに、しっかりとした技術を身につけていた。水中での力強さはいうまでもなく、キャッチからフィニッシュにかけて、ポイントは様々であるものの、きっちりと各自のレンジを確保していた。自分たちの負けたLONDON・R・Cも力とうまさを兼ね備えたクルーであった。やはり、水中が強くなければもちろん艇は動かないし、艇を速く走らすには一枚しっかりと水をつかまなくてはならないのだということに改めて痛感した。

ヘンリーでの会場でのムードは日本とはまるで違っていた。確かにひとつのお祭りではあるが、それ以上にレースを、スポーツを観客は楽しんでいて、楽しむという点からスポーツは始まるのだと思いなおし、またそれはボートにも通じているんだと思った。今までのボートに対する考え方が今回の遠征によって良い意味で変わったのだと思う。

この遠征で得たことは様々であるが、是非今後に生かしたい、そういう思いでいっぱいである。選手権までもう残り少ないが、そこで今回の成果が出せるように日々のモーションに臨もうと思う。

原田昌彦

同志社大学ボート部の創部100周年の今年、現役としてボートを漕げただけでも光栄なのに、その上イギリスに遠征までできて、僕は本当に運がいいと思う。

出発までの数ヶ月、僕はクラブの代表として遠征できる喜びと、プレッシャーをかみしめながらすごした。勝負はどうなるかわからないが、自分の力を最大限出せるように、悔いを残さぬよう練習した。

会場ですでに驚いたのはレースの規模の大きさである。こんな環境でレースができると考えただけで僕は体が熱くなるのを感じた。残念ながらレースは1回戦で敗退してしまっただが、外国クルーの強さを改めて感じさせられ、自分たちがやらなければならないことがたくさんあるのを痛感した。関選・インカレ・全日本ではこの経験を生かして、イギリス遠征を意味のあるものになりたい。

最後になりましたが、今回僕達にこのような貴重な経験をさせてくださったOBの方々に心より感謝します。

宇戸大輔

今回のイギリス遠征に僕はマネージャーとして参加しました。出発前までは初めての海外遠征ということで、言葉の問題や、習慣の違いなど、いろんな不安があったのですが、いざヘンリーの街に着いてみると、そんな不安はいつのまにか忘れてしまっていました。ホームステイ先の家族の方ともすぐうちとけて、イギリス人と話すことに対する恐れは解

消しました。それからはできるだけ多くの人と話をしようと思い、艇置場や街で積極的に話をしました。特にレース場でボート関係の人々から参考になる話が聞けたことは、とてもよい勉強だったと思います。また多くの外国クルーを間近で見ることができたのも、マネージャーだからこそだったでしょう。彼らは技術がどうという以前に、やはり体が大きく、パワーが日本人とは違うと実感しました。さらに、艇が走っているクルーは技術もしっかりしていて、技術、体力共にすばらしいものがあります。わが同志社クルーは体力では劣るものの技術ではそんなにひけをとらないように感じました。また練習について他クルーのコーチに話を聞いたのですが、彼らは同志社クルーほど多くの練習をしていないようです。そして彼らは本当に楽しそうにボートを漕いでおり、余裕が感じられました。

一週間たらずの滞在でしたが、ボートおよび海外生活について多くを勉強しました。外国クルーのあるコーチが言った「体が小さいのは問題ではない」という言葉を信じて、世界に通じる同志社ローイングにするため、今回の経験を生かしながら漕手をサポートしていきたいと思っています。

堀内昭宏

ボートを始めて5年目の自分にとって「ヘンリーロイヤルレガッタ」に出漕することは、ひとつの夢であった。あのヘンリーでレースができるとは考えてもいなかった。多くの期待を胸に、ヘンリーに出発した。ヘンリーは、自分達を暖かく迎えてくれた。イギリスならではの広大な川沿いの風景、静かなテムズ川の流れ、出漕する外国クルー。外国製の艇を、そっと川に置いたとき、いよいよ夢がかなう。そして、ワンストロークを思い切り漕いだ。テムズ川の水は、心なしか重いような気がした。自分は、この感激がテムズ川に伝わるように、大きく、力強くオールを動かした。自分が最も勉強になったのは、練習での外国クルーとのスクラッチだった。レースとは違った雰囲気、しかも日本では体験することのできない外国クルーとのスクラッチ。練習ではあったがかなり緊張した。コンスタントになった瞬間、グイグイ離される。必死で喰いつこうとすると、ピッチだけが上がってしまう。これが外国クルーか。あるいはと思う気持ちがあったが、力の差をまざまざと見せつけられた。でもそれが、次は勝ってやる、次はいい勝負をしたいというファイトを呼び覚まし、全力をオールに出した。そして、レースの時が来た。マッチレース、2200メートル、不安はあった。でもあくまでチャレンジャーである。イギリスで日本人の、いや同志社の漕ぎを全身全霊でやって見せる。スタートからゴールまで、自分はこれまでにない気持ちでひとつひとつのストロークを漕いだ。勝負には敗れたが、高揚した気持ちを全てオールに出しきることができた。表情や言葉で悔しがりはしたが、何故か心はスッキリとしていた。ヘンリーで学んだことは具体的に言葉や文章にはできない。しかし、目で見ると、そして、並べて体で感じとったことは、今でも、いや一生忘れられないだろう。ゴール前の嵐のような拍手が記憶の中にしみついている。ありがとうヘンリー。

ヘンリーロイヤルレガッタ応援歌

幹事長 石本君夫

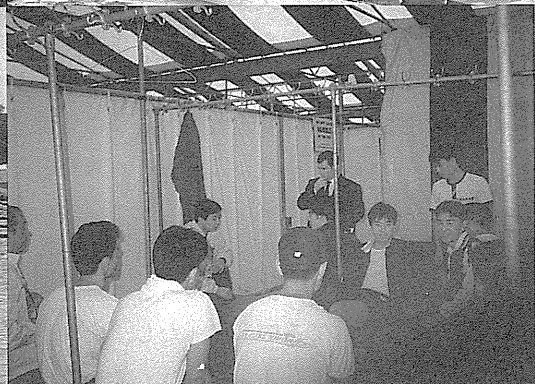
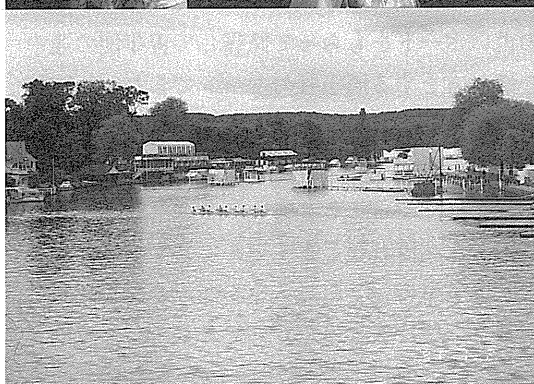
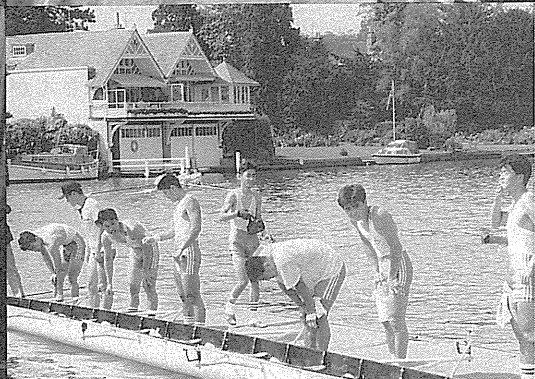
同志社ローイング100年の記念事業としてヘンリーロイヤルレガッタに出漕が決定され、期待と不安の交錯する何ヶ月かであったが、岡本部長と16名のクルーと共にヘンリーに滞在して、本当に来て良かった、これこそ100周年にふさわしい遠征であると確信しました。男子種目のみで小艇のレースも各クラスあるが、人気と迫力はエイトの種目が一番です。五つのクラスに別れていて、われわれは「テムズカップ」にエントリー。このクラスは主として大学の対校クルーで、国際レースに勝っているようなクルーはもう一つ上の「レディースプレート」で、一番最上級のレースは「グランドチャレンジカップ」と言い、ナショナルクルー級で、今年は4チーム参加している。2年前に出漕した早稲田もテムズカップだった。また今回日本大学が出漕したのは「ヘンリー賞」で4番目のクラスに位置する。全出漕クルー数は400で、海外が58、英国内342であった。

コースは川幅80メートル、直線の2コースで、両サイドに柱が20メートル間隔に立てられ、その間に角材を浮かせるという日本では見かけられないコースで、真ん中にはレーンの区別がなく、外にはずれるとオールは損傷は大きい。距離は1マイル550ヤード(約2110メートル)で行われ、岸とほぼ同じ位の高さに感じられる平面的なコースでとても見物しやすかった。

惜しくも初戦でロンドンローイングクラブに敗れたが、タイムは六分五四秒ぐらいで、当日このクラスで7分をオーバーした勝利クルーが多数あったことを考えれば残念。艇、コンディション等を考えると実力は十分に発揮され、われわれが心配したよりクルーはのびのびと力漕していた。

会員の皆様のご理解により、世界のオアズマンが競うレースに参加でき、終生忘れることのない感動を味わった現役は幸せであります。この遠征が同志社ローイング200年に向けての新たなスタートになるでしょう。美しいコース、ボートを愛し楽しむマナーの良い観客、見事な運営、これは文化としてのローイングであり、これをまさに「百聞は一見にしかず」、目のあたりに見て全員感動に浸ったヘンリーでの1週間でした。レースは初戦で敗れ残念であるが、ラストで観客から沸き起こった「DOSHISHA!」の大きい温かい声援は忘れられません。

この遠征では多くの方にお世話になりました。そして何よりも同志社大学ボート部が独力でこの大レースに出漕できたことを誇りと思い、お世話になった方々のためにも再びヘンリーで同志社のオールが力漕する機会の来ることを祈りたいと思います。



瀬田の人々 同志社ボート部学生の思い出を語る

「角源」 平松さん

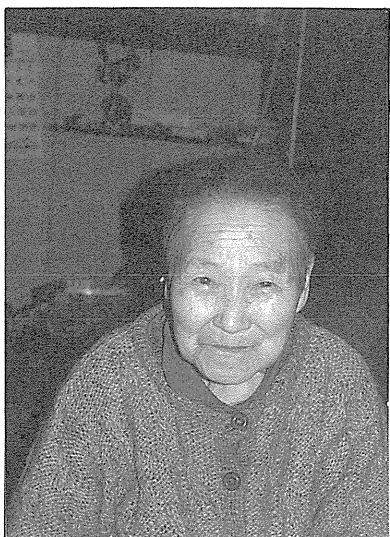
同志社の学生さんは2回ばかりうちで合宿はったことがおすけど、二階でドンドンいわせてけっこうにぎやかでしたな。一階の炊事場で自炊もしてはりましたけど、やっぱりお腹が空くんか、名前は忘れましたが静岡から来てはった男前の人なんかしょっちゅう下のお店に降りて来ては、パンやらお饅頭やらよく食べてはったんもんどす。九州から来てはった何とかいう人があるときちょっと病気になるはってお世話してあげたんどすけど、そしたらあとでお礼やといって久留米餅を一反くれはったこともおましたなあ。まあ皆さん朝早いうちから起きて運動して元気いっぱいでしたけど、同志社の学生さんは他の大学生とくらべてほしいが上品な感じでしたな。あれからもう30年にもなりますんか、私ももう今年で88どすさかいなあ。

「清水湯」 清水さん

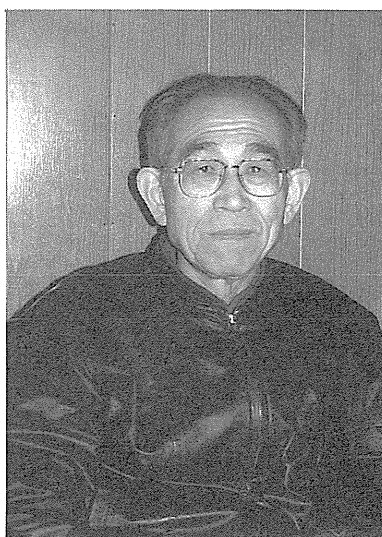
うちは明治の初めから風呂屋やってて私で四代目ですから、同志社のボート部より古いですわ。戦前はここで全国の中学が集まって今でいうインターハイをやってましたがそりゃ盛んなもんで、唐橋が落ちるんじゃないかと思うほど人があそこに鈴なりになって、破れ袴に朴歯の下駄の蛭カラ連中がよう喧嘩してました。私が膳所中から長岡高等工業へ進学勉強しておったころ、高橋宗さんが後輩つれて風呂に来られ、私が勉強してるのを見て「おう、やっとな」とよく声をかけられたもんです。シェル艇は僕ら「空気ボート」と呼んでましたが、空気ボートの人なんかシートを滑らすためのグリースで短パンのお尻をベタベタにして風呂に来てました。今の合宿所ができるとき町議やってたもんで相談を受け、あの場所をお世話したんですわ。昔は同志社いうたらほんまにええとこのほんほんという感じの学生が多かったですね。

元菓子店経営 久保さん

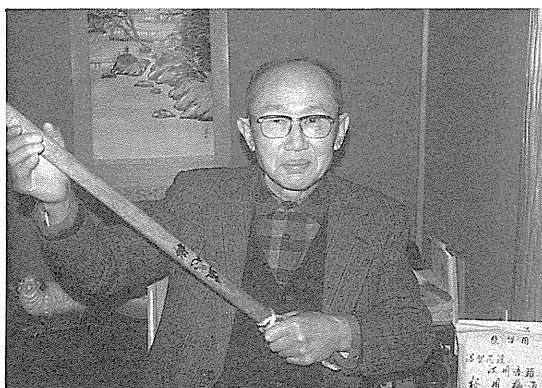
私も若いころからボートが好きで、帝大の古いボートをもらって修復して青年団の連中とよく乗り回してました。昔からきれいな漕ぎ方をする同志社のファンでしたが、昭和30年代でしたか、同志社があまりにも勝てなくなったんで、海軍兵学校時代にしごかれたこの「直心棒」を持って行って、練習中変な漕ぎ方をしているのがいると土手から呼び付けてこれでお尻をぶっ叩いてやったもんです。これでやられると痛いのを乗り越えて脳天までシビれますからな。桜田君、福益君、竹田君、高橋君などよく覚えてます。そうやって恐れられていた反面、けっこう親しまれて、菓子屋やってたころなんかみんなよく来て、離れて昼寝してるのもおったし、食事時に来ると一緒に飯食ったりしてました。帰省のと



平松さん



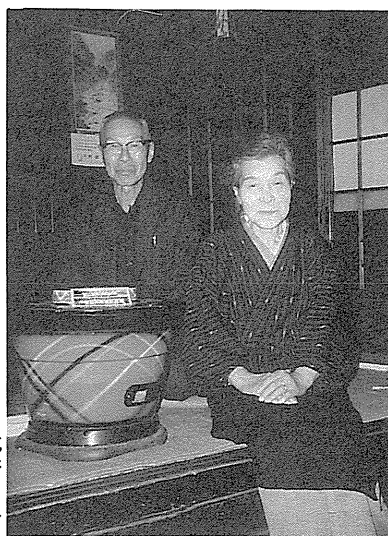
清水さん



久保さん



南部さん



北井さん

き毎年汽車賃たてかえてくれと言って来たのやら、当時は就職に毛筆の履歴書が要りましたから、何人代筆してあげたか数えきれません。この木刀でしごいたのも、どうしても同志社に強くなってほしかったんや。レース前にはコックスの選手を和船に乗せて川を下りながらコースの取り方を研究させたりもした。そんなこんなでやってて、オリンピックに行った人たちからメキシコ土産とってこの灰皿もらったときはうれしかったな。今でもこの棒を持って合宿所に行ってやろかと思うこともあるけど、今の子らにはもうあんなことやれんやろなあ。

「大橋屋」 北井さん

もう古いことだが、昭和の初めに活躍された猿丸さんとか、私の親戚にもあたる元持さんとかとずっと交流してました。確かそのころがスライディングの始めやったかと思えますな。終戦直後の1、2年間でしたか、ここで20人くらいで合宿してはりました。平井うのさんという当時60歳くらいの人に賄いを頼んでました。当時の人は覚えておられると思います。高商と大学が合併するときの相談もここでやられたそうですね。何にしろ、戦後のものない時分に、みなさんよくがんばって練習に励んでおられるなと思っていたのが、もうはるか昔のことになってしまいました。これからも同志社ポートにはがんばってもらいたいですね。

「瓢福堂」 南部さん

昭和6年から和菓子の方をやっていますが、先代は高橋宗さんや、京大の高木公三郎さんと親しくしていたようです。昭和29年に私の代になってからは立命や京大の学生さんの方がよく見えますね。同志社の人はハイカラなので和菓子よりは近所の喫茶店とかに行かれることのほうが多かったようです。私が覚えている人では大丸に行かれた小野木さんがいますが、私の家内も大丸に勤めていて、そこでの上司でおられたそうです。当時の同志社学生の一般的なスタイルは白のカッターシャツに黒ズボンというもので、品のよい感じの学生が多かったですね。

「万里哉」 野口さん

店が合宿所のすぐ前にあったせいや、同志社の学生さんのたまり場のようになっていて、終戦後の2、3年、そのころ小学生だった私も当時現役だった四方さんなんかによくかわいがってもらいました。丸顔だったのでマージャンのパイに見立てて「イーピン」と呼ばれ、ポート部のマスコット・ボーイのような感じだったんじゃないかと思えます。店だけでなく家の方にも皆さんよく来られ、一緒に食事をしたり、風呂に入ったりと、家族みたいなもんでした。エイトに乗せてもらったりよく遊んでもらい、算盤を教えてもらったりしたこともよく覚えています。当時は学校同士の対抗意識が強くて、レース中のトラブルが原因で殴り込みだとかもありましたね。今はどこの学校の学生もそんなに違いはありま

せんが、当時は個性がはっきり分かれていて、同志社の学生は他が弊衣破帽の蛮カラふうなのに対してたいへんオシャレで、お坊ちゃんという感じのやさしい人が多かったように思います。

「一実牛乳」 松本さん

昭和34年頃から唐橋前でパンや牛乳やお菓子の店をやっていた時分、同志社の人たちがよく来てくれました。街頭テレビも置いており、当時は夜10時頃までやっていたのでにぎやかでしたね。その頃の人では、加野さん、稲垣さん、内保さん、大西さん、平田さん、佐野さんなどをよく覚えています。稲垣さんはいつも角帽をかぶって、カッコよかったですね。当時小さかった私の子供が皆さんによくかわいがってもらい、また先代は学生さんたちに冷やしたお茶を飲ませてあげたり、お菓子を作って食べてもらったりと、お母さんがわりといった感じで本当に親しくさせていただいたものです。私の主人の妹がボート部の人と交際をしていましたが、その後卒業して就職されて転勤になり、そのままになってしまったようなこともあったようです。たしかトヨタにお勤めの人だったように思いますが……。唐橋前のお店をやめて蛍谷に移り、配達専門になったので同志社ボート部の皆さんとの交流もとだえてしまいました。当時のことは今でもほんとうに懐かしく思い出しています。



野口さん



松本さん

100周年目の部員たち—現役寄稿(3、4回生)

岡本竜人 4回生

「全日優勝してるから」と、4年前勧誘された。確かにそれはウソではないが、優勝したのは今から20年も前のことであり、ここ数年は低迷につぐ低迷であるという事実を知ったのは、入部してまもなくのことであった。「これではいけない、同志社は強いはずだ」誰もが焦りに似たものを持っていたように思う。そして去年から同志社は変わった。また以前の「強い同志社」が復活しつつある。私もこの同志社の歴史と伝統を守る一翼を担いたいと思う。

宮崎寿春 4回生

自分では別に同志社のローイングということは意識したことはない。別に、同志社でボートをやりたかったわけではないし、ボートがしたかったので同志社にたまたま入っただけだ。年が変わればローイングも変わる。僕は自分のローイングをやっているだけだ。

小林重之 4回生

ボートの魅力とは何か。みんながこれほど苦しい思いをしてまでボートを続けようとするのはなぜか。厳しい練習、長い合宿生活、他の大学生にとって考えられない生活を僕達は送っている。そこまでしてなぜボートを続けるのか。それは、ただ単に対校に乗るため、インカレ、全日本を取るためだけでなく、そこに何か口では言い表せないものがあるからだと思う。その何かが見つかったとき、初めてボートを続けてきてよかったと思うのかもしれない。

加藤康 4回生

合宿所が川の東側にあるので、唐橋を渡らなかつたら「ハリウッド」にも「やっこ食堂」にも「こうちゃん食堂」にも行けません。私はパチンコをやりませんが、K林S之君とかは「オメガ」まで大変でしょう。石山駅までもっと近かつたら、S本君も朝ゆっくりヒゲをそれるのです。それにしても石山駅のM田さんはどうして定期券を売ってくれないの？ O本君、駅員とケンカするのやめてください。

嶋本貴夫 4回生

同志社大学に入学してまもなくボート部に入部し、限られた時間のほとんどを部の活動のために費している僕にとって、ボート部は学生生活そのものにほかならない。どんなにかッコよく、どんなに面白そうなスポーツでも勝てなければ少しも魅力はない。だから僕

は学生生活を魅力あるものにするために頑張りたい。

功力英俊 4 回生

私が「ボート」というスポーツに携わって6年が過ぎた。ボート部であるといっても私のポジションはコックスであり、コックスの主な役割は舵を取って艇をまっすぐ進めることである。推進力にはならない私に要求されることは、体重を軽くすることであるため、とてもオアズマンと呼ばれるような体型ではない。しかし、レースで勝つのも負けるのもコックスの掛け声一つで決まる。たかがコックスであるが、されどコックスである。コックスとしての意地を見せていきたい。

勝本肇 4 回生

いつまでも、練習を「やらされて」いると感じてはいけない。それではボートは楽しくない。ボートを楽しむためには、高度の目標を達成するための動機づけを行い、自ら進んで練習に取り組む姿勢が大切であろう。しかし練習を好きだという者はあまりいないと思うが、練習に妥協しようとする己れ自身に、そして練習そのものに打ち勝つことが、確実に明日の勝利へつながると信じて毎日がんばっていきたい。

吉田拓生 4 回生

私は、インカレで優勝し、全日本の決勝を1位でゴールし、そこにガッツポーズして喜ぶ自分の姿があったら、自分の4年間の同志社ローイングは、楽しく、すばらしい幸せなものであったと思うであろう。今はその夢を現実のものとするため、日々の努力を重ねていきたい。

谷昌二郎 4 回生

大学に入学し、体育会の中でも特に厳しいボート部に入部して、はや4年が経とうとしています。今考えてみても、どうしてボート部に入ったのか不思議な気がします。そして、この部は100周年を迎える、輝かしい伝統と実績を誇る部であり、そのようなすばらしい時期に現役部員として練習できることに感謝しています。この上は、試合に勝って、新聞にかっこよく載り、全国に同志社ボート部の名を知らしめるよう、がんばります。

小田切拓 4 回生

僕ももちろん漕手をするために入部をしたわけですが、ほとんど漕がずに今のような立場になりました。だから、漕ぐということの実感はないに等しいのです。こういう僕にとって、部活とは体を動かす場という感じは全くといっていい程ありません。だからそういった点では他の人とはかなり違ったものかもしれません。が、自分としては気持ちだけはなるべく他の人と一緒にいたいし、いようと努力しているつもりです。僕にとって「同志

社ローイング」とは、そんなものです。

小林俊樹 4回生

僕は「ボートを大学に入ってから始めた」という気持ちで同志社大学に入学して、ボート部に入部しました。実際、僕のいた高校のボート部は趣味に毛がはえたようなもので、他の一回生とほとんど変わりにくらしいのボート素人でした。そしてこれまで非常に感心すべきというか驚くべきというか、全く知らないことを学び、ボートの難しさを痛感しました。他の大学のボート部ではおそらく知らずに終わったでしょう。これも同志社の伝統というやつでしょうか。

下田亨 4回生

同志社に入学してボート部に入るまで、ボートというものがどんなものか、全然知りませんでした。他のスポーツと比べルールもそんなに複雑でなく、一見単純そうな気がしましたが、日を追うごとにその難しさが分かってきました。一世紀も前から諸先輩方がずっとがんばってこられたのだと思うと、毎日やっていることがとてもスケールの大きなものに見えてきます。これからのためにも、今を大切にしていかなければならないと思います。

米山尚吾 4回生

僕が同志社大学ボート部に入部したのは4月の終わり頃でした。中学、高校とほとんどスポーツをしてなかったので続けられるだろうかと不安いっぱいスタートでした。しかし苦しい練習も、みんなで励ましあって乗り越えてきました。練習後の充実感、レースに勝つ喜び、合宿生活ならではの楽しさ等ボートというスポーツからいろいろ経験させてもらいました。これからの大学生活を同志社ローイングと共に歩んでいきたいと思っています。

高橋渉 3回生

このクラブに入って今まで味わったことのないような多くの体験をしました。厳しい練習や、つらい雑用……。でも1回生のときから関関同立レガッタに出場させてもらい、他校に勝つことができました。そのときの喜びは、それらのつらいことを全部吹き飛ばしてくれました。また、その後の関西選手権で先輩方が優勝されたときのことが、とても印象深く頭に残っています。これから後みんなで練習して、みんなで勝って、喜びあえることを目指して、がんばっていければよいと思います。

井上賢二 3回生

同志社ローイングの本質を見極めることは、まだ私にはとうていできるものではありません

せん。私にとっての同志社ローイングとなると、やはり今の自分の生活そのものであるといえます。100年の歴史を持つこの伝統のある漕艇部で活動できることは私の誇りであり、また喜びでもあります。今後も日々努力し精進して、この100年の伝統を受け継ぎ、また次の代に伝えていきたいと思っています。

宇戸大輔 3回生

初めてオールを手にしてから2年が経ちました。僕にとってのこの2年は、それまでの生活とは大きくかけ離れたものになりました。全く未知のスポーツであったボートが、いつのまにか生活の中心になるようになり、最初はわけもわからずやってきたことも徐々に理解できるようになってきました。そしてこれらの中には同志社ボート部にいなければ分からなかったこともあると思います。それらを見つけるべく日々練習に励み、がんばっていききたいと思っています。

内田琢也 3回生

僕は今、シングルスカルに乗り、毎日練習しています。まだまだ同志社ローイングというものを語ることはできませんが、とにかく今はしっかりと体力を着実につけてゆき、試合で少しでも良い成績をとることを目標としています。シングルスカルなので乗艇中は共に声を出し合う人もいなく孤独なものですが、そこで頑張ることによって、肉体的はもちろん精神的にも得るところは大きく、それが僕の同志社ローイングにつながればと思っています。

原田昌彦 3回生

高校時代3年間ボート部に入っていて、大学で新しい気持ちで再びボート部に入り、早くも3年が過ぎた。その間にちょっとは大きくなった自分を感じている。大学でのボート生活はもう2年間しか残っていない。2年間、長く短い2年間、悔いのないようがんばろうと思う。

女子マネージャーOGからのことば

櫻井昭子 (H1卒)

私は2回生から入部させていただきました。甘やかされて育てられてきたせいかならない面が多く、クラブに迷惑をかけるばかりで申し訳ございませんでした。現役時代は苦しみが多く目的が何なのかすらわからず何度もやめようと思いましたが、社会に出て初めて、得たものの価値がわかってまいりました。

現役諸君、くじけず頑張ってくださいね。

川崎優子 (H2卒)

新人勧誘、試乗会でみんなの後についていき、初めて見る唐橋の景色にただなんとなくひかれ入部した。

10年ぶりの女子マネということで主な仕事は「飯炊き」であった。一緒に入部した一つ上の桜井さんと、わけがわからないまま一年が過ぎた。そして私自身何故こんなことをしているのか疑問を覚え、その頃主務だった阿江さんに相談した。「自分で一度ボートに乗ってみてはどうか。」という甘い言葉を囁かれ、つられてしまった。まさしくアメとムチである。結局試合にまで出させていただいた。阿江さんにはそれまでのただの料理人から初めて部員として扱っていただいたと思う。この頃からようやく雰囲気にも慣れてきた。

あとは引退まであつという間だった。自分もモーションに混じってスカルに乗り、またモーターからビデオを撮ったり、COXをしたりして、ボートがどんなにしんどいスポーツか、みんながどんなに一生懸命それに取り組んでいるのかがわかった。

同級生にはほとんど女扱いされず、平気で下着でウロウロされたが、同じ部員・仲間として扱ってもらってうれしかった。思いやりのある良い人達に恵まれたと感謝している。

結局、ボート部に入部していろんなことがあったが、4年間続けてよかったと思う。現役の女子マネージャーの皆さんにも是非途中でやめずにがんばってほしい。きっと何か残るはずです。

中村祥子 (H3卒)

4年間のボート部生活。その時は毎日必死な思いで石山へ通っていましたが、今、こうして社会に出て、毎日机の前で仕事をしてしていると、どうも運動不足というか、精神的につまるものが色々ありまして、ボート部にいた頃の瀬田川に映る、夕陽とCOXの声が混じりあう、あの光景をふと思い出します。夏は暑く、冬は寒い厨房で「なんで私、こんな

ことをしてるのかなあ？」と、ふと魔がさしたような考えもよく思いつきましたし、「習い事や海外旅行もしたいなあ」と思ったこともありました。友達の甘い誘惑の中でも「いや、私今日はクラブ行くしー」と、自分を鬼にして、石山行きの電車に乗ったこともありました。今でも友達が言うのですが、なぜ4年間も続いたのでしょうか？ 私も今もわからないのですが、きっと自分を強くするため、色々な人と接することによって自分の世界を広めるため、というのも理由の一つでしょう。(つけ加えておきますが、厨房で釜や米袋を持ち上げた、あの腕力は、今、オフィスで書類や棚を移動させるのに役だっています！)

ボート部にいて、私は本当に成長したと思います。私はからだ小さく、大きな部員達の中においては、いつか埋もれていくような気がしていたので、いつも動いていよう、何か仕事を見つけて自分の存在を示そうと思っていました。大きな組織の中ではつい、まわりに流されて、自分を見失いがちですが、私は、「自分」をしっかりとてたことで、ボート部も続けられたのではないかと思います。

本当に今となっては懐かしい思い出ばかりです。ボート部で得た、あらゆることを大切に、これからも色々な事に頑張りたいと思っています。

井上京子 (H3卒)

初めて合宿所を訪ねて、入部を決心した日のことを、昨日のこのように覚えているのに、いつのまにか4年が過ぎ、引退し、先日はとうとう追いコンで追い出されてしまいました。本当に月日の経つのははやいものです。

私が初めてボートを見たのは、高校一年生、近所の淀川の堤防を散歩していたときでした。なめらかに進む美しいボートと日焼けした男の子たちは女子校生の私には本当にかっこよく見え、私はいっぺんにボートのファンになりました。

大学1年生の春。新入生がサークルやクラブを選ぶ季節です。テニスやダイビングのサークルにもひかれましたが、私の目を釘づけにしたのはボート部のブルーのスタジャンでした。すぐにでも入部したかったのですが、大きな男の人ばかりの店に行くのはとても怖かったし、友人たちに「無理だからやめろ」と猛反対されたこともあって、1~2週間よく考えてみることにしました。結局、あこがれの気持ちの方が強く、私は覚悟を決めて合宿所に見学希望の電話をしたのでした。

そうです。私は「あこがれ」でボート部に入部したのです。で、実際に入ってみて合宿所に通い始めると、私の想像をはるかに越えるしんどさと単調さ。これが体育会のマネージャーの実態なのかと思うと、本当に悲しくなりました。今だから言えますが、やめたいと思ったのは一度や二度ではありませんでした。合宿所に来るたびに「今日で最後にしたいな……」と思ったものでした。でも、意気地なしの私にはやめる勇気もなかったのです。

ここまで書くと、何だか不幸な4年間だったみたいですが、実際はたくさん先輩方や同回生、後輩たちにお世話になり、助けられて、結構楽しくやってきました。楽しかった

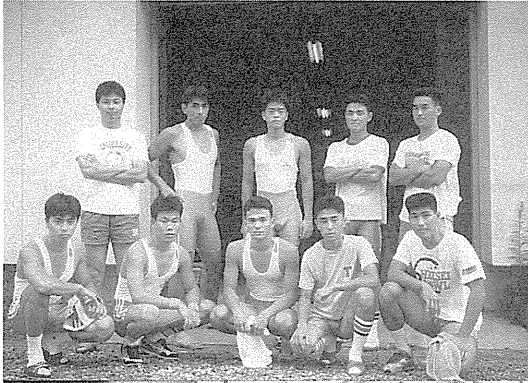
こと、感動したことは山ほどありますが、ここでは書かないことにします。言葉にすると安っぽくなりそうですし、それに、これをお読みの方なら皆さん分かってくださると思うからです。

私はよく、クラスメイトたちから、「ボート部の人ってかっこいいねえ!」とほめられました。口では「そうかなあ」などと軽く流しておく私ですが、内心は「あたりまえ! 鍛え方が違うもん。」と鼻高々でした。ボート部員はほんとに輝いています。こんなすてきなクラブの一員でいられた私は幸せ者です。

現役部員の皆さん、がんばって、勝って、水上でのガッツポーズをマネージャーに見せてあげてください。それだけがマネージャーの喜びです。笑ったり、泣いたり、怒ったり、迷惑をかけながらも大学4年間を厨房で過ごした私からのお願いです。

最後になりましたが、100周年を迎えた同志社大学ボート部の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。





祝

同志社ローイング100年

バレーボール部OB会

祝 同志社ローイング100年

共に100年の歴史を寿ぐ

同志社大学野球部OB会

会長 黒田 脩 (S28年 経卒)

事務局 大阪市東成区中道1-7-30
〒537 大阪食糧卸(株)大食森の宮センター内
TEL 06 (973) 7340 (直)

同志社大学野球部

〒610-03 京都府綴喜郡田辺町多々羅都谷1-3
同志社大学体育会ハウス2
TEL 07746 (5) 7977
07746 (2) 9935

祝 同志社ローイング100年

同志社大学弓友会

創立	昭和31年	東京支部長	井上晃
会長	金子孝雄	東海支部長	田中隆而
幹事	奥山孝	OB総数	510名
会計	川端靖三		

同志社大学体育会弓道部

(創部 明治42年)

最近の戦績 (平成三年四月現在)

平成元年 新人戦優勝

関西選手権準優勝

全日本選手権優勝

平成二年 関西選手権準優勝

全日本選手権二年連続優勝

リーグ戦全勝優勝

全日本王座決定戦準優勝

平成三年 新人戦優勝

祝

同志社ローイング100年

同志社大学体育会バドミントン部OB会

() 内 卒業年度

会 長	高 谷 芳 明 (31)	幹 事	清 水 勇 一 郎 (34)
副会長	村 田 士 郎 (31)	幹 事	芝 田 和 夫 (35)
副会長	河 内 利 雄 (33)	幹 事	豊 原 洋 治 (39)
参 与	鶴 川 隆 造 (33)	幹 事	山 本 甲 兵 (42)
参 与	広 田 修 (33)	幹 事	吉 田 憲 一 (45)
参 与	山 端 英 雄 (35)	幹 事	赤 星 雅 行 (48)
参 与	伊 藤 裕 久 (36)	幹 事	大 串 和 実 (51)
幹事長	岸 本 晃 一 (37)	幹 事	小 国 久 美 (54)
副幹事長	浦 部 浩 行 (33)	幹 事	村 尾 勉 (59)
副幹事長	島 名 貞 夫 (35)	幹 事	白 石 信 二 (60)
会 計	小 草 興 司 (41)	幹 事	伊 藤 顕 矢 (63)
		監 督	山 本 甲 兵 (42)
		コ ー チ	村 尾 勉 (59)

同志社スポーツユニオン

副理事長	岸 本 晃 一 (37)
常任理事	豊 原 洋 治 (39)
常任理事	吉 田 憲 一 (45)
常任理事	小 国 久 実 (54)

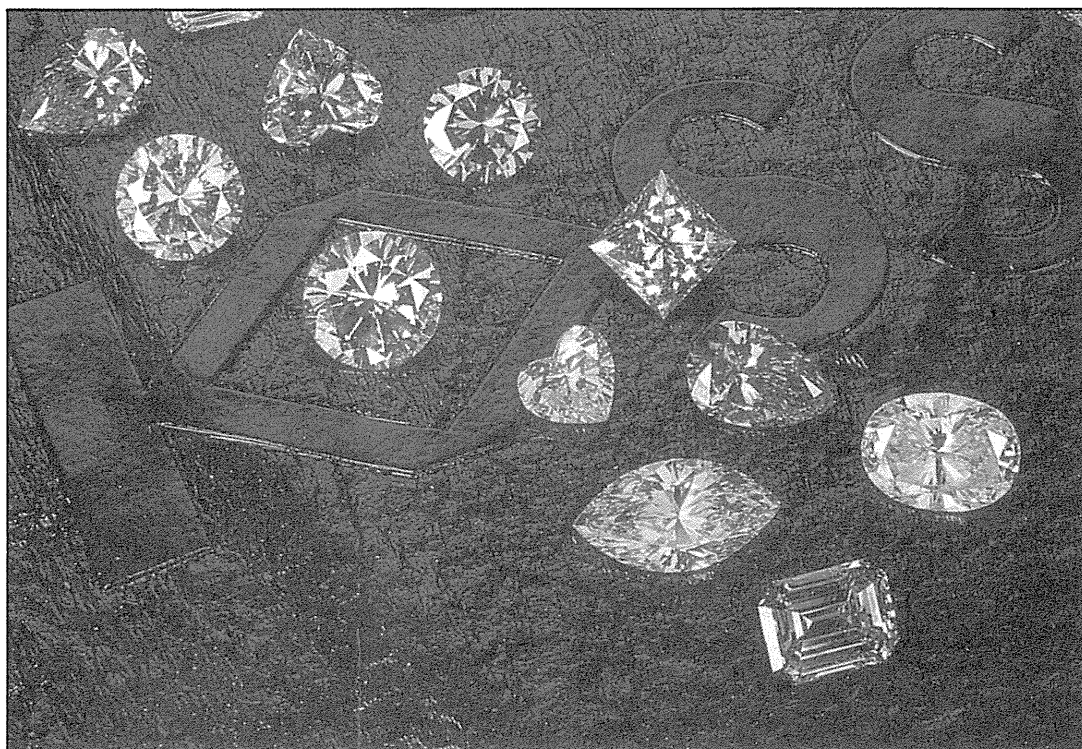
祝

同志社ローイング100年

株式会社 ダスキン西宮

代表取締役 上 中 一 郎
(昭和29年経済学部卒 ボクシング部OB)

西宮市与古道町2-8
TEL(0798)34-3305・22-3312



世界の宝石、有名ブランド品、貴金属製品

ブライダルー式、高級宝飾品、婦人紳士物豊富取揃え、貴金属置物、祝額



三幸宝石 株式会社

専務取締役 細谷 秀雄 (37年卒)

本 社 大阪市中央区東心斎橋1-1-12
ひまわりビル4階

営業所 大阪・奈良・横浜・東京・松山
各そごうデパート内宝石サロン

TEL 本 社 06-252-0733
東京支店 03-3824-5136

祝

同志社ローイング100年



同志社大学体育会航空部

部長 小野 哲

翔友会(同志社大学航空部O.B会)

会長 小野 哲

祝 同志社ローイング100年

同志社大学ゴルフ部OB会

会長 千種 一成

祝 同志社ローイング100年

体育会ボウリング部OB会

会長 近倉 浩司

祝 同志社ローイング100年



同志社大学体育会
アメリカンフットボール部OB会

〒553 大阪市福島区大開4-1-11-307

会長 林 一

See future developments in printing

岩岡印刷株式会社

専務取締役 勝本嘉康

〔昭和28年 経済学部卒〕
〔軟式庭球部〕

本社	〒559 大阪市住之江区中加賀屋4-2-10	Tel 06-685-5221
電算写植センター	〒550 大阪市西区立売堀5-3-20	Tel 06-538-2335
東京支社	〒113 東京都文京区本駒込2-9-4	Tel 03-943-1321
東京工場	〒270-02 千葉県野田市中里工業団地内	Tel 0471-29-5511

株式会社 カーメイト

不動産管理
自動車用品販売
カフェロツジウッドペッカー

事務所 京都府向日市物集女町御所海道 3
電話 (075) 922-4631

安田満夫

昭和31年経済学部卒 (軟式庭球部)

祝 同志社ローイング100年

伝統の技術をエレクトロニクスの分野へ生かす

株式会社 キョーテック

- ◆ **本社 総務部**
〒600 京都市下京区五条通西新道角 TEL (075) 331-6521 (代)
FAX (075) 321-0567
- ◆ **インテリア事業部**
〒621 京都府亀岡市曾我部町犬飼馬の上1 TEL (07712) 3-0661 (代)
FAX (07712) 3-0664
- ◆ **キョーテック事業部**
〒601 京都市南区久世殿城町334 TEL (075) 931-3101 (代)
FAX (075) 931-3104

船舶・建築内装用防火化粧板

株式会社 キョーライト

- ポリエステル化粧板 キョーライト
- ダップ化粧板 キョーライトリビン
- PVC化粧鋼板 キョーライトスチール

- ◆ **本社**
〒600 京都市下京区五条通西新道角 TEL (075) 311-6101 (代) FAX (075) 321-0567
- ◆ **関西営業所**
〒530 大阪市北区曾根崎2丁目2-18 TEL (06) 311-1171 (代) FAX (06) 311-1172
三信住友梅田ビル9F
- ◆ **東京営業所**
〒104 東京都中央区明石町三番11町 TEL (03) 542-1215 (代) FAX (03) 542-1218
メゾン明石ビル1F
- ◆ **西日本営業所**
〒750 下関市金毘羅町9-5 TEL (0832) 34-4670 FAX (0832) 34-4680
下田ビル3F
- ◆ **東海出張所**
〒440 豊橋市東脇4-5-1 TEL (0532) 32-8472 FAX (0532) 32-8477

山惣株式会社

代表取締役 山田晴三

(同志社大学サッカー部OB会副会長)

大阪市西区西本町3丁目1番40号

TEL 06-531-7347

祝・同志社ローイング100年



バルブ・水栓・継手・塩ビ管

吉岡バルブ株式会社

〒542 大阪市中央区安堂寺町1丁目2番12号

電話 (06)761-2961 FAX (06)761-5401

緑の街づくり

総合建設業



吉村建設工業株式会社

代表取締役 吉村公一

本社 〒604 京都市中京区西ノ京小倉町1 ☎(075)802-1360(代)

地域社会の開発に

SCREEN
大日本スクリーン製造株式会社

「社名を聞いただけでは、
わからない会社だよな。やっぱり。」

家族や友達に会社の話をするのは苦手だ。印刷関連や情報機器、電子機器関連、総務、医療……、事業内容を語ればその辺りの多様さに、かえって相手を困らせてしまう。「画像情報処理技術」をベースに、時代の先端をいく様々な産業の発展に寄与している――。



と、こいえば良いのかも知れないがこれでは何のことかわからない。詳しく話すには、会社の誕生から始めなければならなくなる。これが結構角の折れる作業。たいてい、理解するほどに興味がわくのがこの会社の不思議で愉快なところなんだと思ひ、根気よく話すことにしている。

こころ・コミュニケーション

私たちは、人のココロのぬくもりまでおとどけできるよう画像の限りない可能性を開拓します。

会社概要

■設立/1943年10月11日 ■資本金/270億円(1990年9月末日現在) ■売上高/1,280億円(1990年3月期) ■従業員数/2,073人(1990年9月末日現在) ■事業内容/電子精密画像処理装置など印刷製版機器、半導体・液晶ディスプレイ・プリント配線板製造装置および高精細電子部品などの開発・製造・販売 ■事務所/本社：京都市上京区徳川通寺之内上ル4丁目天神北町1-1 ●研究開発部門：工場/京都、滋賀 ●営業拠点(国内)/東京、京都、大阪、名古屋、福岡他 ●営業拠点(海外)/アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、オーストラリア、シンガポール、香港、台湾、中国他

大日本スクリーン製造株式会社

本社/〒602 京都市上京区徳川通寺之内上ル4丁目天神北町1-1 TEL.075(414)711110



インポート。チヤウ・ハイビスカス、ピーチ、シードル、グレープの4種類が楽しめる。チヤウ・ハイビスカス、ピーチ、シードル、グレープの4種類が楽しめる。



新発売

タカラCan Chu-Hi [デラックス]



250ml / 180円 (希望小売価格・消費税込)



※ 未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

ひとりが かすてま

街は忙しすぎる。
人や車が洪水のようにあふれていたり、
テレビからラジオから情報が氾濫していたり……。
あわただしい毎日のくり返しの中で、
本当の自分なんて見えなくなっているみたい。
だからこそ、家にいるときは肩の力を抜いて、
そのままに、快適に、ひとりの時間を楽しみたいな。
生活にフィットしたものだから、くつろげる。
ゆとりが生まれる。
きっとステキな一日。
アスティのナイティで。



ASTY

株式会社 アスティ
〒532 大阪市淀川区宮原1丁目18番11号
TEL.(06)397-1171
〒103 東京都中央区日本橋小舟町14番7号
TEL.(03)3669-2201

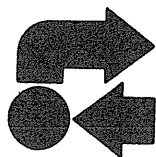


あなたの心と触れあいたい。

ワコールは女性下着をはじめとして、
今では、アウターウェア、子供服、パーソナルウェア、ボディ化粧品…など、
より多彩な分野にまで広がっています。
美しいもの、快適なものに触れて、もっともっと心豊かに暮らしてほしい。
ワコールは、そんな願いをこめて美しさを創造しています。

株式会社ワコール

祝 同志社ローイング100年



株式会社 王子製作所

船舶用艀装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本 社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川 (0794)37-1600(代)
F A X (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話 丸亀 (0877)28-7004
F A X (0877)28-5162

大久保自動車整備工場

大阪陸運局指定民間車検工場
自動車整備・鈑金・塗装・販売・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川 (0794)37-1221(代)
F A X (0794)35-6181

横山 基嗣 (S47卒) 自営

大藤運輸株式会社

■営業種目 港湾運送業
倉庫業
海運代理店業

〒455 名古屋市港区築盛町62-1
TEL (052)653-7311(代)

大藤陸運株式会社
ダイト一物流株式会社
藤栄協運株式会社
東海馬匹輸送株式会社

高井正明
(昭和24年 大英卒)

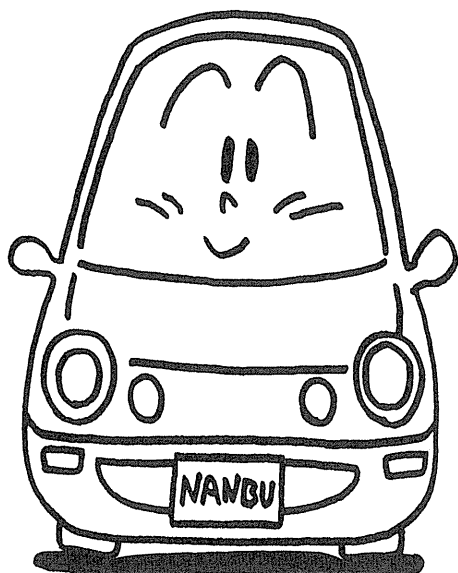
80番目の ランナー。

人間は、25年ごとで世代交代するんです。
つまり、25歳くらいになると子どもが生まれる。
その子が25歳くらいになったら社会に出て、
25年くらい仕事して、
それで、次の世代にバトンタッチするでしょう。
だから、25年。
その区切りでいけば、わたしたちは、
2000年の歴史が始まってから
80番目の世代のランナーとして、
うまれることができたというわけです。
そして、うまれたからには、
おもしろいものを創りたい。
すてきなことを伝えたい。
そして誰か——81番目以降のランナー
かも知れないけれど——の役に立ちたい。
誰もが少しはそんなことを考えながら
走っているのではないのでしょうか。
リクルートも、80番目のランナーの一員です。
ひとが、しあわせになるということについて
いつも考えながら、
走っていこうと思っています。



 RECRUIT

SAFETY LIFE FOR YOU



安全への心づかい、
安全運転への心がまえが
私たちの願いです。



南部自動車学校

TEL: 0596-23-1155 FAX: 0596-23-2497



オートザム伊勢

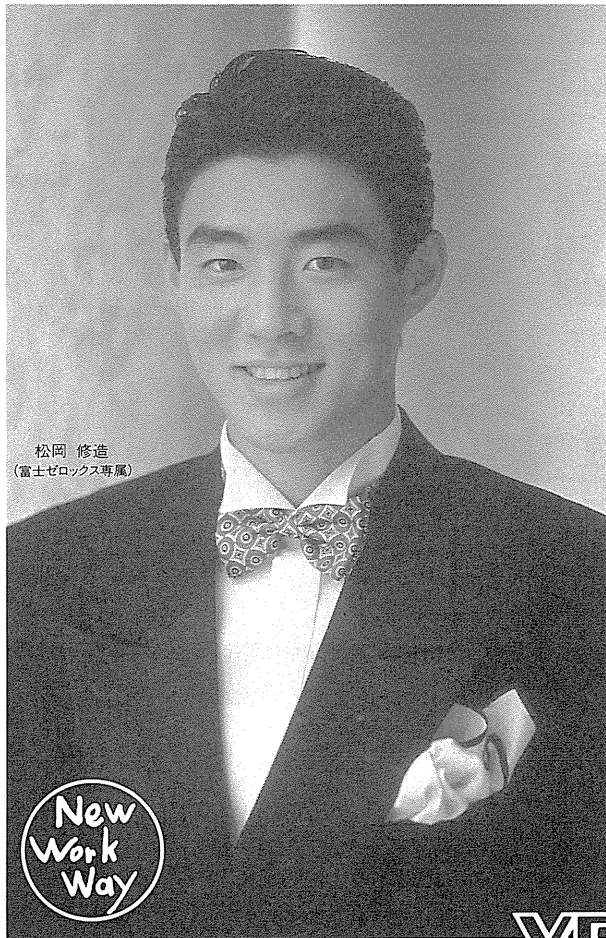
AUTOZAM TEL: 0596-27-3236 FAX: 0596-27-3706

大東自動車株式会社

代表取締役 **加藤 智**

〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10

ご卒業おめでとうございます



松岡 修造
(富士ゼロックス専属)

ニューワークウェイとは一人ひとりの個性、創造性を尊重し、
発揮させ、新しいビジネス環境を創造していくことです。
ニューワークウェイの主役はあなたです。

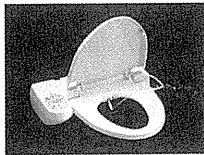
XEROX®

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| ■北海道ゼロックス | ■埼玉ゼロックス | ■長野ゼロックス | ■大阪ゼロックス | ■北九州ゼロックス |
| ■宮城ゼロックス | ■神奈川ゼロックス | ■静岡ゼロックス | ■兵庫ゼロックス | ■熊本ゼロックス |
| ■福島ゼロックス | ■茨城ゼロックス | ■愛知東ゼロックス | ■四国ゼロックス | ■長崎ゼロックス |
| ■岩手ゼロックス | ■栃木ゼロックス | ■愛知ゼロックス | ■奈良ゼロックス | ■鹿児島ゼロックス |
| ■新潟ゼロックス | ■東京ゼロックス | ■岐阜ゼロックス | ■岡山ゼロックス | |
| ■群馬ゼロックス | ■多摩ゼロックス | ■三重ゼロックス | ■広島ゼロックス | |
| ■千葉ゼロックス | ■北陸ゼロックス | ■京都ゼロックス | ■福岡ゼロックス | ■富士ゼロックス |

水まわりからの、生活リフレッシュ。

快適水まわりのおすすめ

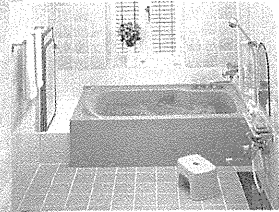
毎日の暮らしの中で、水まわりのもつ役割には、とても大きいものがあります。水まわりは、いわば住まいの心臓部。だから、ご家族はもちろん、お客様にとっても心地よく過ごせるスペースにしたいものです。当店では、快適水まわりのための機器とプランを豊富にご用意し、皆様のお手伝いをさせていただきます。



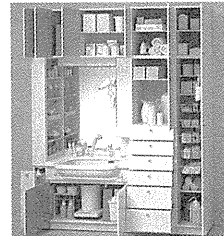
新しいトイレライフに、人気のウォッシュレットを中心とした豊富なラインアップをご用意しています。



手軽に選べるシステムキッチン、ザ・キッチンレガゼスシリーズで、おいしい台所づくりをお手伝いします。

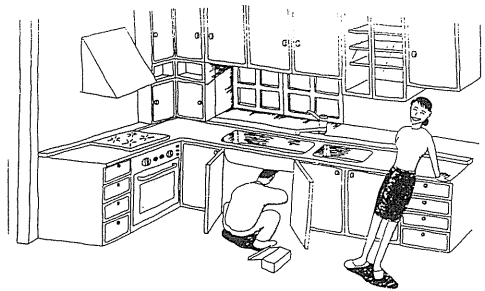
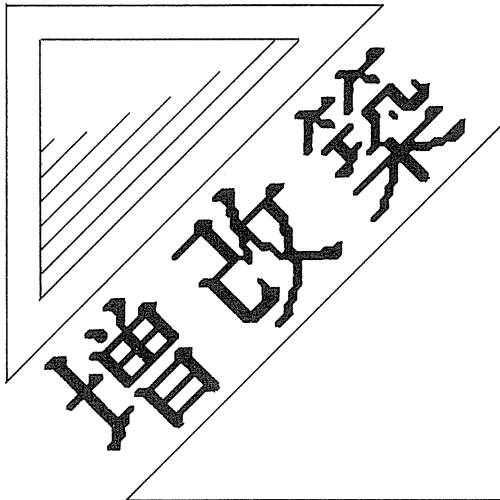


身体と心を花までときほぐす浴室プランを、スペースやご要望に合わせてプランニングいたします。



話題のシャンプードレッサーからグルーミングルームづくりまで、幅広いラインアップでご提案します。

水まわりの増快なら何でもおまかせ。お気軽にご相談ください。



TOTO SPACE 東陶スペース株式会社

大阪支店

TEL 06 (309) 2921 FAX 06 (309) 2930

本社 TEL.03 (3662) 0821
横浜支店 TEL.045 (662) 4031

関西地区 増改築部 高井・鹿子木

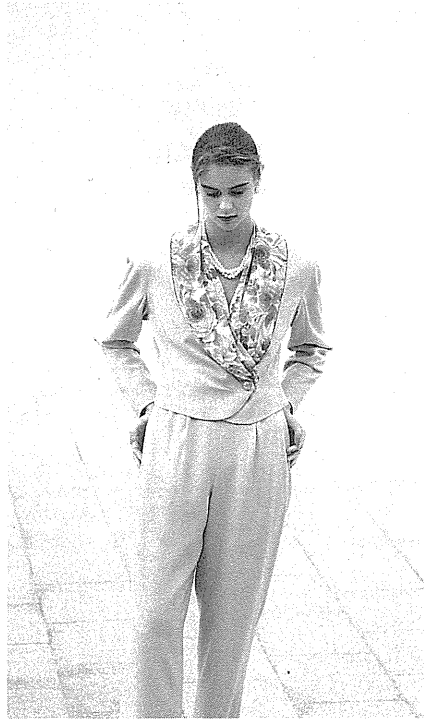


一般建築用材、住宅内装材、土地造成販売

大溝工業株式会社

代表取締役 阪田良之助

本 社 滋賀県高島郡高島町大字勝野
TEL (0740) 36-0030 (代)
営業所 滋賀県大津市馬場3丁目15の12
TEL (0775) 24-2912 (代)



GALSVILLE

LEPELLIA COMODA

Pas Dansant

Sally O'Neill

UNV

Lady Manhattan
NEW YORK U.S.A.

Enita

CHRIST CELLA

Jose Phame

CRIBIA

■ AZALÉE ■

SHE AND HER

MERRY DEVIL
Supreme

Noup & Doxy

Bianca

BUFF

BASSNA VARRE

TO and FRO

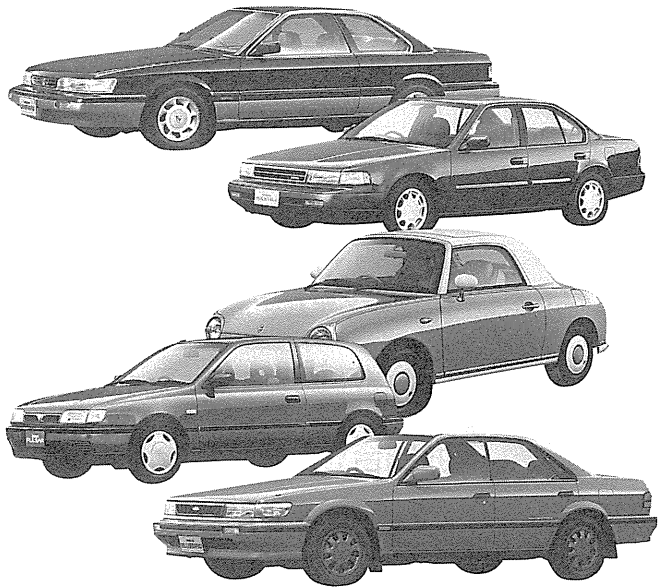
St. Rivière.

ファッションの世界を彩る
赤川英株式会社

TOKYO 東京都千代田区三番町6-5 〒102 ☎(03)3265-2301代
OSAKA 大阪市中央区南船場3-6-13 〒542 ☎(06)252-3001代
FUKUOKA 福岡市博多区博多駅前1-11-27 〒812 ☎(092)451-1281代

OSAKA NISSAN

人とクルマのハーモニー



人とクルマと社会の
ハーモニーを大切にしながら
大阪府下74拠点の
パワフルサービスを中心に
お客様とともに
新しい時代に向かって
歩んでまいります。



大阪日産自動車株式会社

本社/大阪市福島区福島4丁目3番22号 TEL 06(446)2323(代表)

専務取締役 六 嶋 博 司 (昭和32年卒)

トランクルーム



あなたの家財を
しっかりと
お預りします。

- 建物の建替えや、海外へ転勤のときの家財保管■
- 事務所を広く使いたいときの書類保管■
- 地震、火災、盗難等、不慮の事故から大切な財産を守る為■

蔵書目録つき快適保管 愛書館

高級和服・毛皮コート・美術品・磁気テープ
などは最新の空調システムを完備した専用倉庫を、ご利用いただけます。

引越・保管・宅配ご相談下さい。

お問合せは、ホームサービス事業部へ

☎(075)822-3131(直通)

株式
会社

中央倉庫

倉庫業・通運業・運送取扱業・通関業・梱包業

京都市中京区西大路通御池下ル西側

創業90年の歴史が 生み出したノウハウと ビンのリサイクルシステム



年間取扱量4億本

4億本のビンを横に並べていくと、その長さ延べ約14万km、なんと地球を3周半のおどろくべき長さです。

光陽は、90年の歴史と信用のもとに生み出したノウハウによってこのぼう大な量を回収、選別、洗埴、配送等一貫したリサイクルシステムを開発しました。

光陽のサービスのモットー

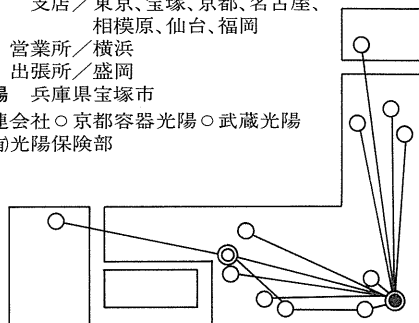
- 機動力……
現地主義による情報通セールスマンの配属
- 品質管理…関西に大型洗埴機と高速検埴機の設置
- 供給力……
大型倉庫の保有、配送システムの完備

事業内容

1. ガラスビン、カレットの回収、販売
2. ガラス新ビン、プラスチック容器、その他包装資材の販売
3. 洗ビン、加工及び充填受託業務
4. 板ガラス、アルミサッシ、その他建材の工事及び販売
5. 損害保険代理業
6. 不動産の仲介

全国をむすぶサービスネット

- 事業所 本社／東京
支店／東京、宝塚、京都、名古屋、相模原、仙台、福岡
営業所／横浜
出張所／盛岡
工場 兵庫県宝塚市
◎関連会社○京都容器光陽○武蔵光陽
○(有)光陽保険部



創業90年



株式会社 光

陽

本社 〒136 東京都江東区南砂2-36-10
☎03 (3648) 3321(代表)
FAX 03 (3648) 0177

アルコール海上輸送専用船

堀内汽船有限会社

代表取締役 堀内光藏

愛媛県北条市浅海原甲544

TEL (08999) 5-0253

お引越なら



まごころ引越便

引越専門協同組合

東京北センター TEL 03-3914-2019

東京都北区豊島2丁目15番1号

岡田運送株式会社

代表取締役 北澤浩延

頼れる合理性。選択時代のスペースバンク

京阪神 ↔ 首都圏を結ぶ
物流一貫システム



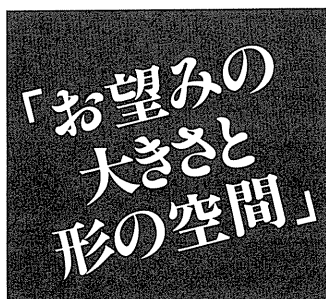
SPACE BANK SERVICE SYSTEM

便利で安心 **トランクルーム** をご利用ください。

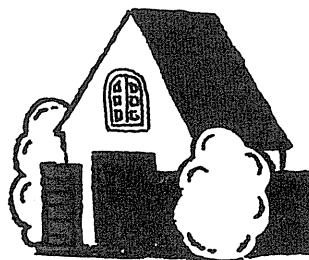
あなた専用のロッカーとして、家財・貴重品をキープ。

住居の新築や増改築時、長期間の海外出張や転勤時、大切な家財や貴重品をお預りします。時代のニーズに応えたスペースバンク、お気軽に利用できる耳寄りな情報です。

■お問い合わせ・お申込み ☎(075)341-5071



トランクルーム
コンテナ保管
引越相談室



京神倉庫株式会社

所在地 本社 〒600 ☎(075)371-3165
京都市下京区和気町21-1
京都支店 東京本部・東京支店
大阪支店 関東支店
神戸支店

国際部 アパレル物流部

●事業内容
●倉庫業 ●運送事業 ●通運事業 ●港湾運送
事業 ●通関業 ●不動産業 ●保険代理業

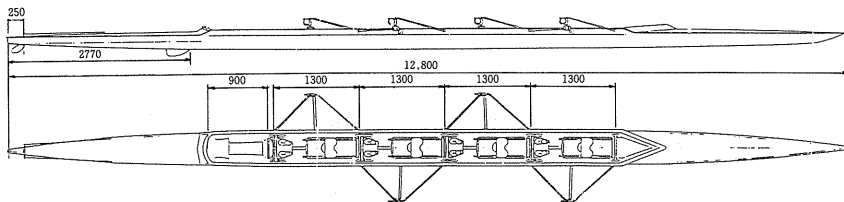
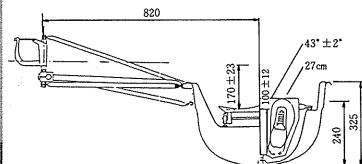
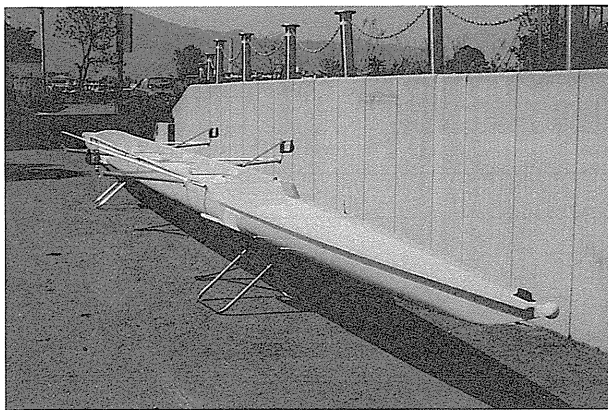
祝 同志社ローイング100年

新規開発高級素材舵手付フォア

全長	12.87m
幅	0.48m
深さ	0.25m
総重量	53~55kg
キール	特殊プラスチック
フレーム	チタンアルミ合金
外板	カーボンペブラー
デッキ	カーボンペブラー
リガー	3点式
ステー	チタンアルミ合金
ローワック	外傾角調整可能



〈内部構造〉



お問合せは

KUWANO

桑野造船株式会社

本社 大津市浜大津4丁目3-25
 TEL (0775) 22-4367(代) FAX (0775) 22-4320
 工場技術部 大津市堅田1丁目21番2号
 TEL & FAX (0775) 73-3265



祝・同志社ローイング100年

斬新な発想と可能性に満ちた
センサテクノロジーでセキュ
リティ用センサ、自動ドア用
センサ等を開発。創造性のあ
る事業展開と起業家精神らが
対象となり、人と社会を快適
さで包むオプテックスに対し
2つの賞が与えられました。



研究開発と会員制アウトドアスポーツクラブを併設した「オーバル」

(社)関西ニュービジネス協議会制定

ニュービジネスフォーラム'91 奨励賞受賞

関西テレビ放送制定

'90 パイオニア・オブ・ザ・イヤー 顕彰企業に選定

オプテックス株式会社

本社 〒520 滋賀県大津市におの浜4-7-5 TEL (0775)24-1900
株主センター 〒520-01 滋賀県大津市雄琴5-265-1 TEL (0775)79-8000
東京営業所 〒160 東京都新宿区西新宿6-16-6 第三ビル TEL (03)3344-5775
大阪営業所 〒531 大阪府北区豊崎3-6-8 10ビル TEL (06) 374-3650




祝 同志社ローイング100年

ロジエ ROSIER

京都市東山区祇園切通富永町上ル(ヤサカビル4F)

TEL(075)541-7974

世界初、麦の殻をやがってつくりました。

麦は殻を  がばっています。
 いままでは殻ごと  ビールにしていました。
 サントリーが  麦の殻をやがりました。
 こうして生まれた新しいさわやかさ。



ギンジョウ
ビア吟生[殻やぶり]

サントリーから
新発売



製造・販売 サントリー株式会社 飲酒は20歳を過ぎてから。
 お値段はふつうのビールと同じです。希望小売価格(ただし瓶保証金含む/消費税込み) 633ml大瓶320円/500ml中瓶275円/334ml小瓶195円/500mlロング缶285円/350mlレギュラー缶220円

うまいはずだ! 麦芽100%

サントリーモルツ

製造・販売 サントリー株式会社 飲酒は20歳を過ぎてから。



鉄管継手 可鍛鑄鉄製品 ダクタイル鑄鉄

△^{よ どり} 吉年可鍛鑄鉄株式会社

河内長野市上原町770番地（郵便番号586）

TEL (0721) 53-3121(代)

FAX (0721) 54-1814



掬華苑

美の花

夏寸がた

TOKIWAGIKU®

京呉服製造卸商社

株式会社 トキワ商事

〒604 京都市中京区烏丸通蛸薬師南入る
TEL.075(211)3401(代表) FAX.075(255)5338

社長 土肥 信一郎

同志社経専昭和19年卒
同志社大学経済昭和24年卒

スタイリッシュなボディのなかに、操る楽しみを高密度に凝縮。



**SUPER
SELECT
4WD**

**METALTOP WIDE
XR-II**

新型4WD車「三菱パジェロ」の一貫生産



東洋工機

〒505 岐阜県加茂郡坂祝町酒倉2079番地
TELEPHONE 0574-25-4151(代表)
FACSIMILE 0574-25-8328

代表取締役会長 平井弘一

- 創 立 昭和18年12月30日
- 資 本 金 6億1,000万円
- 従業員数 1,950名
(男子1,850名 女子100名)
- 売 上 高 326億円
(平成2年4月実績)

理科機器

SCIENCE

体力科学機器

PHYSICAL SCIENCE

産業科学機器

INDUSTRIAL SCIENCE

八神国際貿易株式会社 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号
TEL.(052)962-3811代 / FAX(052)971-1398



YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.

HEAD OFFICE:NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN

TEL.(052)962-3811/FAX.(052)971-1398 / TLX.0444-7507 YAGAMI J

CABLE ADDRESS: "YRSCO", NAGOYA

祝 同志社ローイング100年

株式会社 三勝ハウジング

代表取締役 伊藤 竹美

東京都新宿区西新宿7-22-19 三永ビル
TEL (03)3369-5775 FAX (03)3369-5776

寿司・割烹・活魚料理・折詰
(大小宴会受けたまわります)

魚 鶴

地下鉄玉川駅南出入口前
電話 (461) 〇六六三(代)
(463) 〇六六三

〈小回りがきくを、モットーに〉

富士電装株式会社

ビジュアルサイン・ネオンサイン・塗装全般

代表取締役 米田 勝法

大阪市福島区野田6丁目3-36

電話 大阪 (468) 3161~2番

FAX 大阪 (461) 4831番

祝 同志社ローイング100年

東林株式会社

代表取締役 難波江 伸武

大阪市北区梅田2丁目3番24号 西阪神ビル

TEL 341-8531

栄川木材株式会社

TEL 685-2121

FAX 685-2128

米材・南洋材・製品・原木及アフリカ材

(株)エガワオート

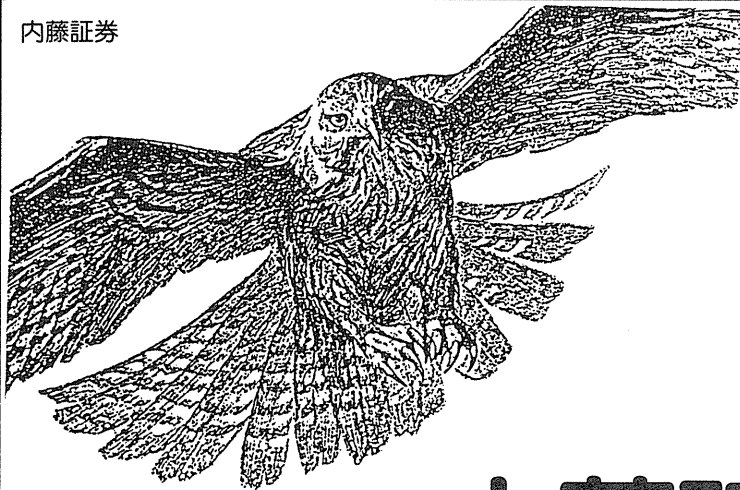
TEL 686-3880

FAX 686-1602

ボディショップ・国産車・外車取扱

大阪市住之江区平林南1丁目3番82号

内藤証券



より大きな豊かさを求めて
よりよい情報をおとどけする………
みなさまの
“財テク情報ステーション”

内藤証券

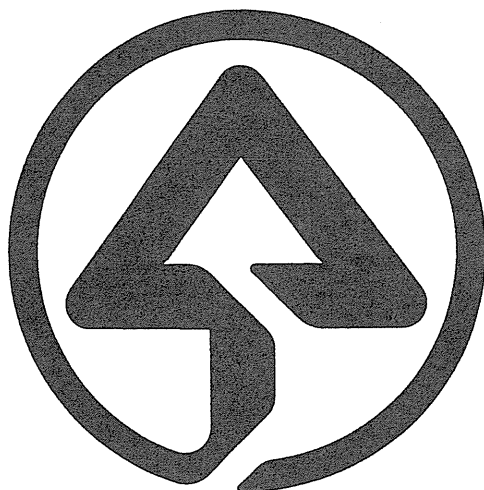
グローバルな視点。

本店 〒541 大阪市中央区高麗橋一丁目5番9号

TEL (06)201-2321代表

支店 東京 三鷹 寝屋川 尼崎 天王寺 奈良 堺
肥後橋 和歌山 湯浅 富田林 泉佐野

木と人と、未来のために



西垣林業

ログハウス、ツーバイフォーハウス
輸入・企画・設計・施工・販売

株式会社 **ホルツ**

〒559 大阪市住之江区南港南2丁目3番44号
(南港センタービル5F)

TEL 06-613-8187

FAX 06-612-5059

六陽商事株式会社 北米材輸入販売

TEL 06-613-2601~3

FAX 06-612-5059

DAITO

●より美しさを追求するプロフェッショナル集団

塗料・防水・塗装用品販売

特約メーカー

日本ペイント株式会社
東亜ペイント株式会社
鈴鹿塗料株式会社
エスケー化研株式会社

大東油脂株式会社

〒553 大阪市福島区玉川4丁目12の1

TEL 06 (468) 2860

FAX 06 (443) 3692

中條 雅嗣(商学部 38年卒)

祝 同志社ローイング100年

丸山英敏法律事務所

弁護士 丸山英敏(同大昭和40年卒ボート部)

弁護士 藤原弘朗(同大昭和58年卒)

弁護士 平田 亨(同大昭和59年卒)

〒530 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル10階

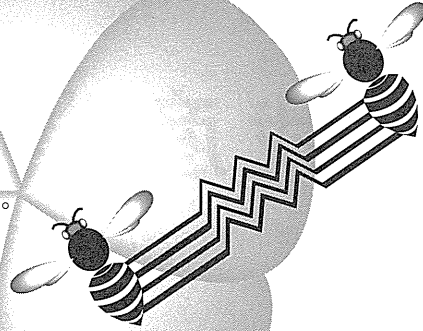
TEL 06-365-6188

FAX 06-365-5338

THE NEXT COMMUNICATION

より豊かなコミュニケーション

大平印刷は、印刷技術をベースにマーケティングコミュニケーションをトータルに考えています。印刷媒体をはじめあらゆるメディアに対応したクリエイティブワーク、リサーチ&プランニング、情報処理など幅広い分野で充実した活動を展開し商品開発、物流管理さらには事業開発にいたるまで、クライアントのマーケティング活動をトータルにサポートすることで、21世紀に向けてのより豊かなコミュニケーション活動を目指しています。



大平印刷株式会社 本社 京都市下京区西大路通五条南入千600 東京営業所 TEL(03)3663-9631#
TEL(075)313-7141# FAX(075)315-2307 大阪営業所 TEL(06)354-0751#

TAIHEI
Taihei Printing Co.Ltd.



建築資材の専門商社 興国ハウジング株式会社

京都営業所

〒612 京都市伏見区横大路鍬ノ本町17番1号
TEL (075)621-6216 FAX (075)621-6399
本社／東京 支店／札幌、仙台、東京、大阪

暮らしを彩るヒューマニティー
住建、建材、総合商社

久我産業(株) 本社

〒550 大阪市西区北堀江2丁目1番4号 TEL 06(538)1861代表

京都支店 京都市南区上鳥羽川端町59 TEL075(691)6366

営業所：大阪・枚方・美原・阪神・加古川・住建流通センター

熱帯雨林保護への最大の貢献は針葉樹の利用拡大です。

針葉樹合板

☆針葉樹はリサイクル資源です。

☆針葉樹は防虫防腐効果に優れます。

 **林ベニヤ産業株式会社**
HAYASHI


代表取締役 林 一 雄


本 社 大阪市中央区北浜4丁目4番12号
(シティバンクビル3F)
電 話 (06) 228-1401 (代)


工 場 舞 鶴・七 尾
東京事務所、営業所／富山・金沢・名古屋
関係会社

林船舶株式会社・林木材工業株式会社

【生産品目】

 構造用合板

 型 枠 合 板

 塗 装 合 板

物流の未来をみつめて
新しい鼓動をキャッチ



タカラ貨物株式会社



OBAYASHI

ビル・マンションなる。建築



大林組は創業100年です。

株式会社 大林組
東京本社/東京都千代田区神田司町2-3 千101 ☎03-3292-1111
本店 大阪府中央区北浜東4-33 千540 ☎(06)946-4400 電話番号案内]

明日のパッケージを
創造する



タカラ容器株式会社

大きな夢、育てます



50万円からの資金づくりスーパーMMC



よき隣人

びわこ銀行

ここを、あなたを、愛したい。



 滋賀銀行



さりげないプレゼントや、お祝いの日に洒落た贈り物を。こんなパーソナルギフトの新しい顔がバラカードです。

贈られた方が欲しいモノを気軽に買えて、小銭でわずらわされる心配のない、新時代のカード・ギフトです。

プリペイドのタカシマヤバラカードは7種類。

1,000円・3,000円・5,000円・10,000円・30,000円・50,000円・100,000円

- ①お買物のたびごとにわずらわされる小銭の心配がありません。
- ②発行税のかかる地域でも、お客様に税金のご負担はありません。
- ③ご贈答用にスマート。
- ④ギフトパッケージ(無料・有料パッケージ)を各種ご用意いたしております。
- ⑤裏面にはご利用月日と残額が30回まで表示されます。

※高島屋各店及びグループ各店でご利用いただけます。

お求めは 京都店1階商品券サロン・洛西店2階商品券売場で承ります。

●京都店地階・洛西店1階に自動販売機も設置いたしております。



高島屋

一生懸命に、
一生懸命に、



お疲れさまに愛情一本。
滋養強壮・肉体疲労時の栄養補給に

チオビタ®
ドリンク



瀬田城址／旅亭

臨湖庵

瀬田城は永享元年(1492)勢多判官章則氏の手により築城されました。天正十年本能寺の変の際、城主の山岡景隆の手により火が放たれました。

その後、膳所藩重臣、三松氏が出家しこの地に草庵を結び、臨江庵と名付けたのが現在の臨湖庵の由来となっています。

〒520-21 大津市瀬田橋畔 TEL (0775)45-4128(代) FAX (0775)43-2226

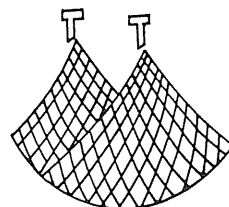
近江路・石山

三日月橋

〒520 大津市石山寺1-3-15(京阪石山寺駅歩10分)

☎0775-37-1561

政府登録国際観光旅館



びわ湖瀬田川畔

あみ舟
元祖

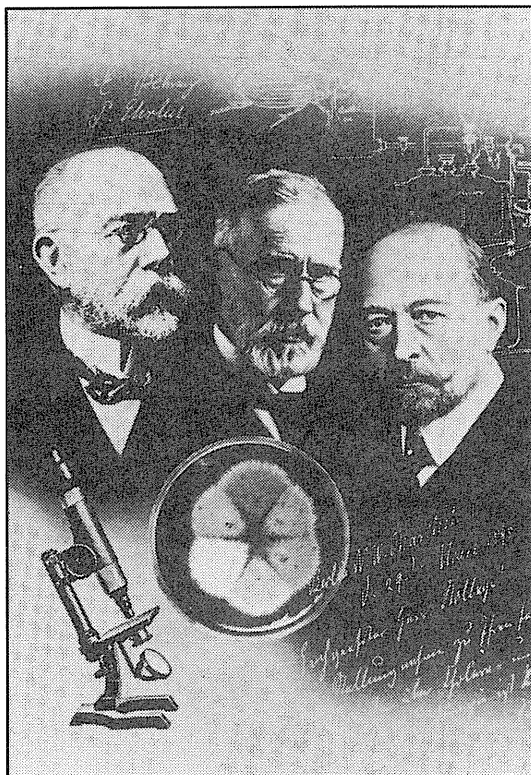
あみ定



大津市唐橋町23-1

TEL (0775) 37-1780(代)

FAX (0775) 37-1791



医療史に残る 数々の医薬品開発の 豊かな経験と 実績をふまえて……

創立以来128年、ヘキストは化学のあらゆる分野で、また世界130カ国の国々で活躍を続けている総合化学会社です。とくに医薬品の分野では、解熱鎮痛剤アンチピリンをはじめ、抗ジフテリア血清、ツベルクリン、サルバルサンなど世界の医薬品史に残る高水準の製品を生み出してきました。細菌学者ロベルト・コッホ、免疫学の創始者エミール・フォン・ペーリング、そして化学療法のパル・エーリッヒ。ヘキストは、ノーベル賞受賞のこれら偉大な科学者との共同業績を今日に受け継ぎ、数多くのすぐれた医薬品の提供と、年間約1,000億円、世界各国で5,000名ものスタッフを投入して明日の医療に貢献する医薬の研究開発活動を続けています。日本でも、世界のヘキストグループの研究開発ネットワークの一端を担う重要メンバーとして分子生物学の分野にいち早く進出、将来の新薬創製に向けての新たな第一歩を踏み出しています。

ノーベル賞受賞に輝く
ヘキストとの共同研究者達
左から
ロベルト・コッホ
パウル・エーリッヒ
エミール・フォン・ペーリング

ヘキストジャパン株式会社
〒107 東京都港区赤坂八丁目10-16
Hoechst

フジサワ

皮膚の赤鬼

(しっしん、かぶれ、かゆみ)
見つけたら……

Eurax (オイラックスG)
20g
〈包装〉10g・20g・30g

ご家族みなでお使いいただけます。

- しっしん ●カミソリ負け ●オムツかぶれ
- じんましん ●虫さされ
- いろいろなかゆみに

べとつかない

オイラックス®G

■この医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください



海陸一貫輸送

協成海運株式会社

代表取締役 塩 口 孝 志

大阪市港区弁天2丁目5番25号

電 話 大阪(06)572-5221(代表)

F A X (06)571-7890

北九州営業所 北九州市小倉北区浅野2-17-1

〒802 松濤ビル 6階

電 話 (093)511-6191~2

F A X (093)511-2512

石本メリヤス株式会社

代表取締役 石 本 君 夫

〒553 大阪市福島区野田2丁目21番13号

TEL (06) { 462 - 3 9 0 1 番
461 - 0 9 0 2 番

ファクシミリ (06) 462-3902番

祝 同志社ローイング100年

瀬田川の流れるようにいつまでも



マーガレット

岸本 希利子

〒553 大阪市福島区大開 1-14-12
スウィングプラザ野田 3F
TEL (06)468-2626

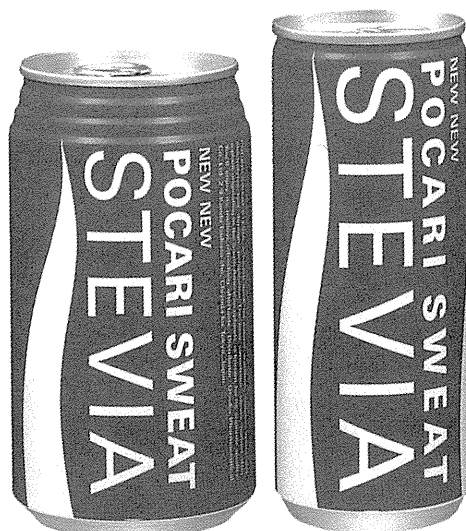
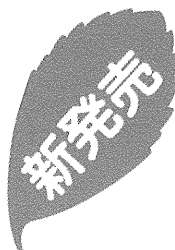
新デザインで仲間入り ポカリスエット・

ステビア

寝起き、お風呂上がり、スポーツに、
お仕事に、そしてお酒を飲んだ翌朝など、
冷たいポカリスエットのさわやかな
飲用感は、とても一口で言い表わ
すことができません。


そのポカリスエットに新しい仲間
「ポカリスエット・ステビア」が
誕生しました。

さわやかさを植物性にしました。
ぜひお試しください。



340ml 97円
メーカー希望小売価格(消費税は含まれません)

245ml 97円
メーカー希望小売価格(消費税は含まれません)

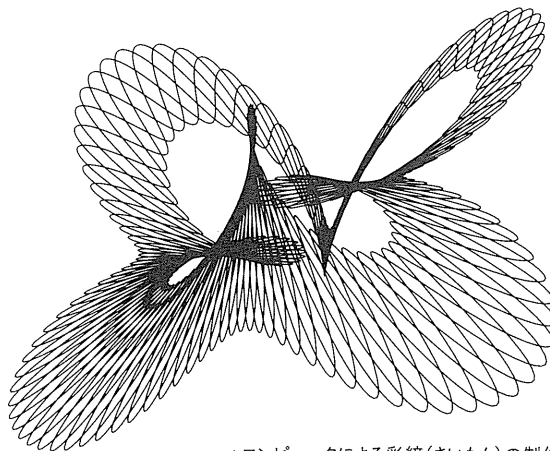
 大塚製薬

求める情報を 求めるかたちに

DNP
大日本印刷

DNP・大日本印刷は
1876年の創業から1世紀余、
より多くの人に、より多くの情報を
伝えようとメディアとしての印刷を
追求してきました。

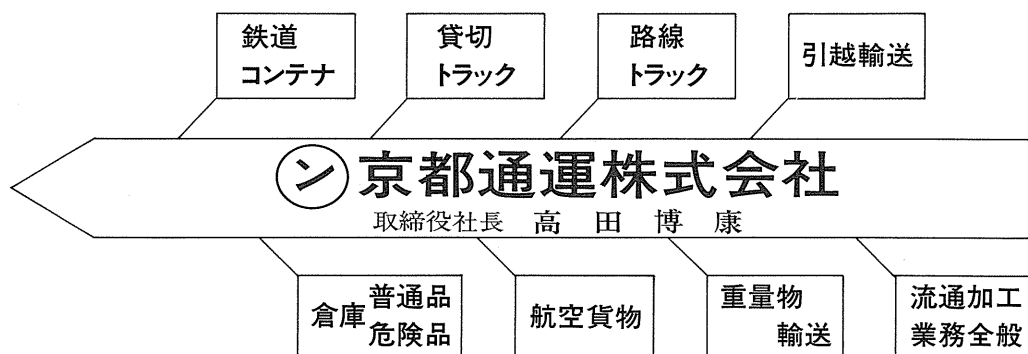
そしていま、多様化する
文字・画像情報を
データ・ベースとして蓄積。
ニーズに応じた、あらゆる形での
情報伝達を目指しています。



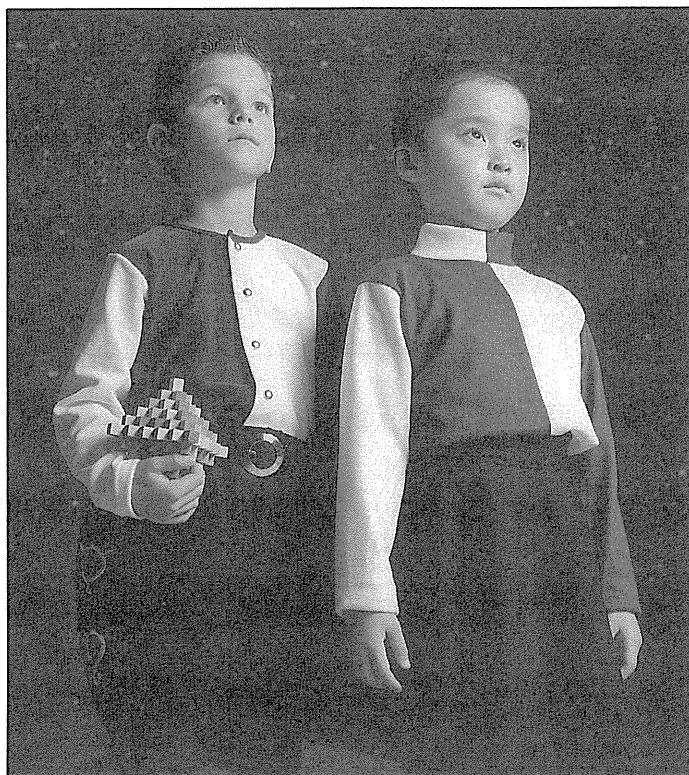
▲コンピュータによる彩紋(さいもん)の制作

大日本印刷株式会社 関西包装事業部
〒616 京都市右京区太秦上刑部町10 電話075-871-1121

物流新時代を漕ぐ(ン)京通クルー



本 社 京都市下京区大宮通七条下る上之町438 ☎(075)371-9101
 梅小路支店 京都市下京区梅小路頭町 JR梅小路駅構内 ☎(075)314-9601
 伏見支店 京都市伏見区横大路橋本35 ☎(075)623-1221
 札幌支店 札幌市手稲区西宮の沢3条2丁目189-13 ☎(011)663-4951
 滋賀支店 滋賀県栗太郡栗東町大字辻字才の神594 ☎(0775)52-1103
 久御山倉庫・東土川危険品倉庫・仙台出張所・自動車整備工場・高野口連絡所



活情報。
暮らし。

トッパンは、
人々の間の目に見えない
言葉や気持ちを
カタチに変える会社です。

コミュニケーション・インダストリー

TOPPAN

凸版印刷株式会社
本社 〒101 東京都千代田区神田和泉町1番地

関西支社
大阪市福島区海老江3-22-61
〒553 TEL. 06(454)3111

原稿流通サービス

会員制

テーマネット

契約ライターが書ける原稿のテーマを
データベース化

雑誌・新聞・PR誌・社内報等
にお好みの原稿を提
供します。



あらゆる分野の
フリーライター
・情報提供者を
随時募集

企画・編集・出版のハイテク企業

株式会社出版文化社

〒530 大阪市北区天満1-7-8日宝サンライズ
TEL 06-354-3008

日本出版クラブ会員

同志社時報

大正十二年五月八日 第二〇八號

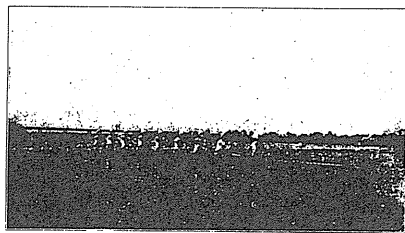
校友同窓諸兄姉に告ぐ

拜啓 五月十一日金曜日(雨天順延、但し午前九時より)

石山々門前瀬
田川筋に於て
同志社大學及
中學聯合水上
大運動會相催
し候間御家族
御同伴御來觀
の榮を得度此
段御案内申上
候

追而別に案内状不差出候間左様御承知
被下度候
大正十二年五月一日

同志社大學
中學學友會



—— 鳴 腕 快 ——

(一) つつさり晴れた湖の朝
すくよて飲んだ金の水
クロバの影が長くひく
霞を縫ふてオールの音
歌しか意氣か火の様に
御空がすめば氣もひろい
(二) 五月高き星清ら
銀河走るか千里
我れに意氣あり鳴の湖
歌へや友と船をうて
赤き血狂人奔人の月
山の端近く照る月に

(一) 戀をかこつた世をなくか
湖の乙女の憂きなやみ
濼屑と消えて真心を
(二) 來れ怒濤よ立ちかへり
燃ゆる情の燈火に
法の光にこがしたる
(三) なきさづたひに此の夕べ
三つのクロバの旗高く
目さすは星か燈火か

(一) 聯袂の潮振きとめて
祖國の爲めに剛健の
義憤に満ちし丈夫が
(二) 春殘露の夕まぐれ
秋銀霜の朝まぢき
比叡山下虹雲の
油浮ぶる夕べなき
うつすは岸べあさみどり
鶴も爪し武夫の
四 開けや勇まじ湖こえて
古人を老松の
歌には誰ぞ馬に寝て
(五) 怒りに猛る波萬丈
乙姫舞入龍宮城
さばれ丈夫のひ
(六) 颯爽なりし吾選手
嵐をなして行くところ
常勝の名のいや榮え

逸情の風を打ち破り
士風を茲に定めんぞ
血潮に凝りしガット
オールの響きをつき
琵琶の湖上に火を飛ばす
氣をばく男兒君見すや
眞帆ぞ片帆を繪にも似て
黄金なす花秋くれれば
鏡の影ぞしのぶ哉
いなく胸に纏うちし
腕に霞む孫にて
残月遠し茶の煙り
人をも舟も湖のそこ
唐の都を見んとてか
嘯く聲に破の腕
一度滑げば九萬里
及向ふ敵のあらばこそ
新橋はとほに我れにあり

大正期「同志社時報」より

△校友諸君に告ぐ

拜啓五月十三日(雨天の節は翌十四日)午前九時より
石山山門前に於て同志社大學及中學聯合水上大運動
會相催し候間御家族御同伴御來觀の榮を得度此段御
案内申上候 敬具

追而別に案内状不差出候間左様御承知被下度候
大正十年五月一日

同志社大學
中學學友會

同志社ローイング100年 別巻 WILD ROVER 新たな船出

1991年9月14日発行

発行者 同志社艇友会
同志社ローイング100年記念事業実行委員会

編集者 同志社ローイング100年記念誌編集委員会
滋賀県大津市瀬田3丁目2-30同志社大学ボート部合宿所内
同志社艇友会本部事務所 電話(0775)45-0702

企画 株式会社大丸京都店「創本工房」

製作 株式会社出版文化社

印刷 大平印刷株式会社

カタチはちがっても、
贈る気持ちはひとつです。



格調で選ぶ、おなじみ。

■大丸の商品券

先様のお好きな品を、お好きな時に選んでいただく大丸の商品券。細やかな心遣いを格式高く伝える小切手タイプです。

●券種…5千円、1万円、2万円、3万円、5万円、10万円の6種類。

1階／商品券売場

※商品券・大丸くじゃくカードをお求めの際には、消費税はかかりません。

※ご使用の際に別途3%の消費税を頂戴します。

スマートさで選ぶ、新しい。

■大丸くじゃくカード

大丸のイメージシンボルくじゃくをあしらったプリペイドカードです。ショッピングのたびに、ご利用月・日と残額を裏面に表示、小銭にわずらわされることなくお買物が楽しめます。

●券種…3千円、5千円、1万円、3万円、5万円、10万円の6種類。



DAIMARU

大丸・四条烏丸

電話(075)211-8111・大代表

全館7時まで営業

